

令和6年10月入学

令和7年4月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科 博士課程（医学系）

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences
(Doctoral Program) (Med. Field)

学 生 募 集 要 項

一	般	選	抜						
社	会	人	特	別	選	抜			
外	国	人	留	学	生	特	別	選	抜

新潟大学大学院医歯学総合研究科

〒951-8510

新潟市中央区旭町通1番町757番地

新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

電話 (025) 227-2015

E-mail medgakum@med.niigata-u.ac.jp

☆ 選抜日程

	令和 6 年 10 月入学	令和 7 年 4 月入学 ＜第 1 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和 6 年 6 月 5 日(水)～ 6 月 14 日(金)【必着】	令和 6 年 6 月 5 日(水)～ 6 月 14 日(金)【必着】
出願期間	令和 6 年 7 月 8 日(月)～7 月 12 日(金)【必着】	令和 6 年 7 月 8 日(月)～7 月 12 日(金)【必着】
試験日	令和 6 年 8 月 16 日(金)	令和 6 年 8 月 16 日(金)
合格発表	令和 6 年 9 月 12 日(木)	令和 6 年 9 月 12 日(木)
入学手続期間	令和 6 年 9 月 18 日(水)～9 月 20 日(金)	令和 7 年 2 月 26 日(水)～2 月 28 日(金)

	令和 7 年 4 月入学 ＜第 2 次募集＞	令和 7 年 4 月入学 ＜第 3 次募集＞
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和 6 年 9 月 4 日(水)～ 9 月 13 日(金)【必着】	令和 6 年 11 月 6 日(水)～ 11 月 15 日(金)【必着】
出願期間	令和 6 年 10 月 7 日(月)～10 月 11 日(金)【必着】	令和 6 年 12 月 17 日(火)～12 月 23 日(月)【必着】
試験日	令和 6 年 11 月 7 日(木)	令和 7 年 1 月 21 日(火)
合格発表	令和 6 年 12 月 17 日(火)	令和 7 年 3 月 13 日(木)
入学手続期間	令和 7 年 2 月 26 日(水)～2 月 28 日(金)	令和 7 年 3 月 18 日(火)～3 月 19 日(水)

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

受験生特設サイト：<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>

入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
-----------------------	---

I. 令和6年10月入学

○ 一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
1. 募集人員	5
2. 出願資格	6
3. 出願期間及び出願書類等提出先	7
4. 出願書類等	8
5. 入学者の選抜方法等	10
6. 試験場	11
7. 合格者の発表及び入学手続	11
8. 授業料	11
9. その他	12
Admission in October 2024 Special entrance examination for international students	13

II. 令和7年4月入学

○ 一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜	
1. 募集人員	21
2. 出願資格	22
3. 出願期間及び出願書類等提出先	23
4. 出願書類等	24
5. 入学者の選抜方法等	26
6. 試験場	27
7. 合格者の発表及び入学手続	27
8. 授業料	28
9. その他	28
Admission in April 2025 (first application, secondary application, tertiary application) Special entrance examination for international students	29

III. 出願資格の確認	37
Confirmation of eligibility for application	41

IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）

V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（医学系）案内	43
-------------------------------	----

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

分子細胞医学専攻（医学系）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、分子細胞医学専攻は、分子細胞生物学的手法を駆使して、疾患の成り立ちの解明、予防法、治療法の研究と開発を行うとともに、分子細胞医学に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生命現象や疾患の成り立ちなどを遺伝子、タンパク、細胞レベルで解析する「遺伝子制御」、「シグナル伝達」、「細胞機能」、「分子情報医学」、「メディカル AI センター」、「連携大学院」（東京都医学総合研究所）の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した35の教育研究分野があります。35の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「ライフサイエンス研究概論」を、専攻共通選択科目として「動物実験法演習」、「分子生物学演習」、「細胞機能研究法演習」、「組織構造研究法演習」を履修し、分子細胞医学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

生体機能調節医学専攻（医学系）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、生体機能調節医学専攻は、生体を臓器、器官の面から総合的に捉え、生体機能、病態を解析する研究を行い、疾患の予防法、治療法を開発するとともに、生体機能調節に関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、生体を臓器や器官のレベルで総合的に解析する「内部環境医学」、「器官制御医学」、「機能再建医学」、「感覚統合医学」、「腎科学」、「可塑性機能制御」の6つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した34の教育研究分野があります。34の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の指導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「生体調節機能概論」を、専攻共通選択科目として「生体機能研究法演習」、「移植医学演習」、「脳機能イメージング演習」、「器官臓器実験法演習」を履修し、臓器・器官レベルの生命活動に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として6つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

地域疾病制御医学専攻（医学系）

【教育理念・目標】

医歯学総合研究科は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端的生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材の養成を目指しています。また、社会人入学制度と連携し、生涯教育を充実・普及させます。

その中で、地域疾病制御医学専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から分析する研究を行い、少子高齢化、情報化社会に対応する地域的疾病の予防法、制御法を開発するとともに、それらに関わる先端生命科学、応用専門医学、境界領域医学の研究者及び高度医療専門職業人を養成します。

【教育内容・特色】

本専攻は、疾病を社会、空間、時間などとの関連から総合的に解析する「国際感染医学」、「地域予防医学」、「総合医療評価学」の3つの大講座からなり、大講座には個々の入学者のニーズに対応した15の教育研究分野があります。15の教育研究分野のいずれかを選択し、その分野の主旨導教員と他分野の副指導教員の指導の下、1年次には、専攻共通必修科目として「地域疾病制御概論」を、専攻共通選択科目として「医療統計学演習」、「感染学演習」、「免疫研究法演習」、「理論疫学演習」を履修し、感染症・免疫学、国際保健、予防医学、医療統計学に関する基礎的素養、先進知識と技術を習得します。1年次以降は、専攻個別科目として3つの大講座をまたいだ領域横断的授業を受けつつ、学位論文作成に向けた研究活動を行います。

【求める学生像】

研究者、高度医療専門職業人を養成するために以下のような資質、能力を有する学生を求めます。

分子細胞医学専攻

1. 医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を有している人。
2. 医学・医療の分野で、高度医療専門職業人として社会に貢献する意志と意欲のある人。
3. 医学・医療を通して人類の幸福に貢献する意志を持った人。
4. 先端生命科学を担う研究者を目指す人。
5. 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行する人。
6. 医学研究者・高度医療専門職業人として世界の医療に貢献しようとする意欲を持った人。
7. 分子細胞生物学全般を統合的、体系的に理解する能力、志望する研究教育分野における基礎知識を有している人。

生体機能調節医学専攻

1. 医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を有している人。
2. 医学・医療の分野で、高度医療専門職業人として社会に貢献する意志と意欲のある人。
3. 医学・医療を通して人類の幸福に貢献する意志を持った人。
4. 先端生命科学を担う研究者を目指す人。
5. 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行する人。
6. 医学研究者・高度医療専門職業人として世界の医療に貢献しようとする意欲を持った人。
7. 生体を臓器、器官の面から統合的に捉え、生体機能、病態を理解する能力、志望する研究教育分野における基礎知識を有している人。

地域疾病制御医学専攻

1. 医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を有している人。

2. 医学・医療の分野で、高度医療専門職業人として社会に貢献する意志と意欲のある人。
3. 医学・医療を通して人類の幸福に貢献する意志を持った人。
4. 先端生命科学を担う研究者を目指す人。
5. 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行する人。
6. 医学研究者・高度医療専門職業人として世界の医療に貢献しようとする意欲を持った人。
7. 疾病を社会、空間、時間などとの関連から分析するための能力、志望する研究教育分野における基礎知識を有している人。

【入学者選抜の基本方針】（医学系3専攻共通）

選抜方法

医学科卒業生、修士課程修了者もしくはそれらと同等レベルの基礎学力を持つとともに、志望する教育研究分野への高い理解度を持つ人を選抜します。そのために、以下のような選抜方法を実施します。

一般選抜・社会人特別選抜

- ・個別学力検査では専門科目と外国語（英語）を課し、専門科目では志望する研究教育分野に対する理解度、語学試験では研究や周囲とのコミュニケーションに必要な語学力を評価します。

外国人留学生特別選抜

- ・個別学力検査では専門科目と外国語（英語）を課し、専門科目では志望する研究教育分野に対する理解度、語学試験では研究に必要な語学力、周囲とのコミュニケーションに必要な語学力を評価します。

I. 令和6年10月入学

一 般 選 拔

社 会 人 特 別 選 拔

外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔

- 令和6年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（令和6年10月入学）の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専攻	大講座	募集人員	備考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	若干人	募集人員の中には、一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
	メディカル AI センター		
	連 携 大 学 院		
生 体 機 能 調 節 医 学 専 攻	内 部 環 境 医 学	若干人	
	器官制御医学		
	機能再建医学		
	感覚統合医学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地 域 疾 病 制 御 医 学 専 攻	国 際 感 染 医 学	若干人	
	地 域 予 防 医 学		
	総合医療評価学		

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号、Eメールアドレスは博士課程（医学系）案内（43ページ以降）を参照してください。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別選抜については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別選抜については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 6 年 9 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者（38 ページ参照）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者（38 ページ参照）
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 6 年 9 月までに授与される見込みの者（38 ページ参照）
- (6) 文部科学大臣の指定した者（7 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（39 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を令和 6 年 9 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは令和 6 年 9 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（40 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 6 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者（40 ページ参照）

注 「2. 出願資格（6）」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（38 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（39 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(2), (3)及び(5)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、37 ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格（6）」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

令和6年7月8日（月）から7月12日（金）まで（必着）

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

郵送する場合は、**必ず「書留速達」としてください。**

(2) 出願書類等提出先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025)227-2015

4. 出 願 書 類 等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出 願 書 類 等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
② 検 定 料 30,000 円	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（医学系）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、令和6年7月1日（月）から7月12日（金）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日の振込みは、できません。）</p> <p>③ A T M（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
④ 卒業（見込）証明書又は学位授与証明書	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとしします。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p>
⑤ 返信用封筒 3枚 ・受験票在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「受験票在中」封筒には郵便切手354円分を貼ってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。</p> <p>※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。</p>

（注）卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとします。
⑦ 大学院修士課程 成績証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。
⑧ 研 究 概 要 （社会人特別選抜 出願者のみ）	大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑨ 臨床経験概要 （社会人特別選抜 出願者のみ）	大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜） ※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。
⑩ 在留カードの写し 又はパスポート の写し （外国籍を有する 者）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般選抜

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
令和6年8月16日(金)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科（医学系）
外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除
を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つに
なります。

注3）外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし、
電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(2) 社会人特別選抜

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
令和6年8月16日(金)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専門科目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専門科目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科（医学系）
外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除
を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つに
なります。

注3）外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし、
電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(3) 外国人留学生特別選抜

学力検査の日時及び試験内容

試 験 期 日	時 間	試 験 内 容
令和6年8月16日(金)	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により，新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科（医学系）外国語試験（英語）合格者については，上記外国語（英語）を免除します。免除を希望する者は，出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は，①筆記，②口述，③筆記及び口述，のいずれか1つになります。

注3）外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし，電子辞書及び医学辞書は不可とします。

6. 試 験 場

新潟大学医学部 （新潟市中央区旭町通1番町757番地）

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

令和6年9月12日（木）午前10時

上記日時に合格者の受験番号を医学科ホームページで発表します。

また，発表と同時に，合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお，可否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

令和6年9月18日（水）から9月20日（金）まで（必着）

郵送または持参してください。郵送の場合は，書留速達とし，持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

② 入学に要する経費

○ 入 学 料 282,000 円（予定額）

（注） 入学科免除希望者は，入学手続時に入学科を納付しないでください。

8. 授 業 料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納入していただく予定です。

（注2） 授業料の納入方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用

されます。

9. その他

- (1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。
- (2) 障がいの有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和6年6月14日(金)までに出願書類等提出先(7ページ参照)に相談してください。
- (3) 試験当日のマスク着用は任意となります。但し、咳などの体調不良の症状がある場合はマスクの着用をお願いします。マスクを着用している場合、本人確認時は試験官の指示に従いマスクを外していただく場合があります。
- (4) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。
ただし、検定料振込み後、出願期間内に提出しなかった場合は、当該検定料(30,000円)を返還します。
検定料の返還については、下記をご参照ください。
<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>
なお、返還対象となった日から5年以内に返還の申し出がない場合は、返還請求を辞退したものとさせていただきます。

This is the English translation of the Japanese Application Guide.
The official version is the Japanese Application Guide.

Admission in October 2024 Special entrance examination for international students

1. Enrollment limits

Course	Department	Enrollment limits	Remarks
Molecular and Cellular Medicine	Molecular Genetics	A few students	The number of applicants includes students who advance from general entrance examinations, special entrance examinations for working people, special entrance examinations for international students, and doctoral first semester program or master's program at our university graduate schools.
	Signal Transduction Research		
	Cellular Function		
	Molecular Neuroscience and Brain Diseases		
	Medical AI Center		
	Cooperative graduate school		
Biological Functions and Medical Control	Homeostatic Regulation and Development	A few students	
	Cardiovascular and Vital Control		
	Regenerative and Transplant Medicine		
	Sensory and Integrative Medicine		
	Nephrology		
	Functional Neuroscience		
Community Disease Control	Infectious Disease Control and International Medicine	A few students	
	Community Preventive Medicine		
	Medical Informatics and Pharmaceutics		

(Note) When applying, please contact your academic advisor in your desired education and research field. Niigata University uses “Inquiry Form” to help students find a prospective supervisor. Please provide us with your information from the following URL:

2. Eligibility for application

For the special entrance examination for international students, persons who do not have Japanese nationality and who fall under any of the following:

- (1) Persons who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy prescribed in Article 83 of the School Education Act, or a course in veterinary medicine, and persons who are expected to graduate by September 2024
- (2) Persons who have completed 18 years of formal school education (the final program must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or who is expecting to do so by September 2024
- (3) Persons who have completed 18 years educational curriculum of a country other than Japan by taking a correspondence course provided by a school of that country (the final course must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) in Japan, and persons who expect to complete by September 2024
- (4) Persons who have completed a course of university study in Japan that is conducted at an educational institution of a country other than Japan (and only who have completed 18 years study of school education [the final course must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine] in the country) and recognized as being part of the educational system of the country, and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and persons who expect to complete by September 2024
- (5) Persons who have been granted a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a course with a minimum term of study of five years or more (medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) at a foreign university or other foreign school (This shall be limited to cases where the overall situation of the educational and research activities, etc. has been evaluated by a person who has obtained certification from the government of said foreign country or relevant organizations, or cases where the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology separately has designated as equivalent thereto) (including completion of a course in Japan in correspondence courses offered by a school in said foreign country, and completion of the course at an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), and persons who are expected to be granted such by September 2024
- (6) Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology
- (7) Persons who have been admitted to a graduate school pursuant to the provisions of Article 102-2 in the School Education Act (limited to doctoral program in medicine, dentistry, and pharmacy [limited to cases where the minimum term of study which forms the basis of the graduate school pertaining to said program is six years] or veterinary medicine), and who are subsequently recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences as having scholastic ability suitable for receiving education at a graduate level
- (8) Persons who have studied courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy prescribed in Article 83 of the School Education Act, or a course in veterinary medicine for at least four years by September 2024, or persons who

have completed 16 years of educational curriculum of a foreign country (limited to courses whose main purpose is cultivate practical clinical ability out of courses in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine) or who expect to complete by September 2024, and persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences as having acquired the designated credits with an excellent academic record

- (9) Persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine, and who will reach 24 years of age by September 30, 2024

Notes Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology in (6) of “2 Eligibility for application” are persons who fall under any of the following:

- (i) Persons who have studied medicine or dentistry at a university faculty of medicine or dentistry under the old University Ordinance (Imperial Ordinance No. 388 of 1918) and have graduated from such school
- (ii) Persons who have graduated from the National Defense Medical College under the Defense Agency Act (No. 164 of 1954)
- (iii) Persons who have completed a master's program or course of the professional graduate school under Article 99, Paragraph 2 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947) and can receive a master's degree, and persons who have been enrolled in a doctoral program without a first or second semester classification for at least two years, have acquired at least 30 credits, and have received the necessary research supervision (including persons who fall under Article 6, Item 1 of the Rules for Degrees [Ordinance of the Ministry of Education No. 9 of 1953] prior to revision by the ministerial ordinance revising a part of the Rules of Degrees [Ordinance of the Ministry of Education No. 29 of 1974]) and who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine
- (iv) Persons who have engaged in research for at least two years at a university, research institute, etc., after graduating from a university (excluding courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine), or who have completed 16 years of educational curriculum of a foreign country, and persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine based on said research results

* Persons who fall under any of requirements (2), (3), and (5) to (9) of “2. Eligibility for

application” will be checked their eligibility in advance. Please receive confirmation in accordance with “III. Confirmation of eligibility for application”.

However, persons who fall under Note (i) or (ii) of (6) in "2. Eligibility for application" are not required to have their eligibility confirmed.

3. Application period and place of submission of application documents

(1) Application period

From Monday, July 8 to Friday, July 12, 2024 (applications must arrive within this period.)

If you bring it with you, reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m.

If you send them by mail, **it should be registered express mail.**

(2) Place of submission of application documents

757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510

Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine

Telephone (025)227-2015

4. Application documents

Applicants are required to prepare the following application documents and bring them directly or send them by registered express mail during the application period.

(1) Items submitted by all applicants

Application documents	Description
<ul style="list-style-type: none"> - Admission application form (i) - Examination card - Photograph card 	<p>Use the designated form attached with this application guidebook. Please pay attention to the notes on the application form when filling it out.</p> <p>Be sure to affix the Certificate of Payment of Examination Fee (for submission to Niigata University) to the designated area. (*Make sure that the receipt stamp of the financial institution is affixed.)</p>
<p>(ii) Examination fee</p> <p>30,000 yen</p>	<p>Complete the required areas in the Transfer Request Form (Entrance Examination Fee for the Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences [Doctoral Program](Med.Field)), Transfer Money and Transfer Fee Receipt (Retained by the Applicant), Certificate of Payment of examination Fee (for submission to Niigata University) attached to this guideline. Give due consideration to the following, take the form to a financial institution excluding Japan Post Bank (Yucho) without detaching the receipt and the certificate from the form, and pay the examination fee at the bank counter. Be sure to have the receipt stamp of the financial institution affixed.</p> <p>Applicants are required to bear the cost of the transfer fee.</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) The applicant's name must be entered in the payer's name column. (ii) Transfer of the examination fee is required between Monday, July 1 and Friday, July 12, 2024 (3:00 p.m.). (*You cannot transfer money on Saturdays, Sundays, or national holidays.) (iii) You cannot make a transfer at an ATM (automated teller machine).

Application documents	Description
(iii) Certificate of Payment of Examination Fee (for submission to Niigata University)	Affix the examination fee payment certificate (for submission to Niigata University) received at the bank to the designated area on the admission application form. (*Make sure that the receipt stamp of the financial institution is affixed.)
(iv) Certificate of (expected) graduation or certificate of diploma	It shall be prepared by the president of the university (faculty) or the principal of the school from which you graduated. Graduates (expected graduates) of School of Medicine and Faculty of Dentistry are not required to submit this.
(v) Return envelope Three envelopes - Envelope containing entrance examination card - Envelope containing admission letter - Envelope containing admission procedure documents	Use three return envelopes attached with this application guidebook. Write your zip code, address, and name on the envelope. Affix 354 yen worth of postage stamps onto the envelope containing entrance examination card. It is not necessary to affix postage stamps onto nor the envelope containing the admission letter or the envelope containing the admission procedure documents.

(Note) If your current name is different from the name on the certificate of graduation, please submit a document that confirms the fact that you changed your name such as an abstract of family register (a copy is acceptable).

(2) Items submitted by applicable persons

(It is not necessary to resubmit documents submitted at the time of confirmation of eligibility.)

(vi) Certificate of (expected) completion of master's program in graduate school	Only persons who have completed master's program at a graduate school should submit this. It shall be prepared by the dean of the graduate school from which you graduated.
(vii) Academic transcript for master's program in graduate school	Only persons who have completed master's program at a graduate school should submit this.
(viii) A copy of residence card or a copy of passport (Non-Japanese applicants)	Submit a copy of your residence card (front and back). However, if you are unable to submit your residence card due to reasons such as it is before your coming to Japan, please submit a copy of your passport (page with name, etc.).

5. Method of selection when selecting students

The selection of new students will be made by academic examinations (written and oral) and application documents.

The selection of new students will be made by integrating the results of said examinations.

Date and content of the academic examination

Date of examination	Time	Content of examination
Friday, August 16, 2024	10:00-11:30 a.m.	Foreign language (English) (Dictionaries may be brought in.)
	1:00-2:30 p.m.	Specialized subject (Questions from the field of education and research of your first choice)
	3:00-4:30 p.m.	Specialized subject (Questions from the field of education and research of your second choice)

- Note 1) Students who have passed the foreign language test (English) at the Niigata University Graduate School of Medicine or Medical and Dental Sciences will be exempted from the above foreign languages (English) if they wish. Persons who wish to be exempted should fill in the relevant fields on the admission application form.
- Note 2) The examination method for specialized subjects must be one of (i) written, (ii) oral, or (iii) written and oral.
- Note 3) English-Japanese dictionary, Japanese-English dictionary and English-English dictionary are allowed to bring in for the foreign language (English). However, digital dictionaries and medical dictionaries cannot be used.

6. Test site

Niigata University School of Medicine (757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City)

7. Admission announcements and admission procedure

(1) Admission announcements

Thursday, September 12, 2024, 10 a.m.

Front of the auditorium of the School of Medicine Faculty of Medicine

The examinee numbers of successful applicants will be announced on the School of Medicine Faculty of Medicine's website.

The admission letters will be also sent to the successful applicants.

We will not respond to any telephone inquiries regarding acceptance or rejection.

(2) Admission procedure

The outline of the admission procedures is as follows. Detailed information will be notified to successful applicants.

(i) Admission procedure period

From Wednesday, September 18 to Friday, September 20, 2024 (applications must arrive within this period)

Send it by mail or bring it with you. If you send it by mail, it should be registered express mail, and if you bring it with you, reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m.

(ii) Expenses required for admission

Entrance fee 282,000 yen (estimated)

(Note) Applicants who wish to be exempted from paying the entrance fee should not pay it during the admission procedure.

8. Tuition fee

Annual amount: 535,800 yen (first semester: 267,900 yen, second semester: 267,900 yen) [estimated amount]

(Note 1) Tuition fees are scheduled to be paid by direct debit after enrollment.

(Note 2) Detailed information about payment method for tuition fees will be notified to successful applicants.

(Note 3) If tuition is revised while you are in school, the new tuition will be applied from the time of revision.

9. Other

(1) Changes in the contents of application documents after submission are not permitted.

(2) Persons with disabilities who require special attention for the entrance examinations and study should consult with the place of submission of application documents by Friday, June 14, 2024.

(3) Examination fees already paid will be not refunded and application documents already submitted will not be returned.

However, if the application documents are not submitted within the application period after the payment of the examination fee, it (30,000 yen) will be refunded.

For information on the refund of examination fees, please refer to the following website.

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>

If you do not request a refund within 5 years of the date you became eligible for the refund, we will assume that you have declined the request.

Ⅱ. 令和7年4月入学

(第1次募集・第2次募集・第3次募集)

一 般 選 拔

社 会 人 特 別 選 拔

外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔

- 令和7年度新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程(令和7年4月入学)の学生を、次のとおり募集します。

1. 募 集 人 員

専 攻	大 講 座	募集人員	備 考
分子細胞医学専攻	遺 伝 子 制 御	22人	第1次募集, 第2次募集及び第3次募集をあわせた募集人員です。 募集人員の中には, 一般選抜, 社会人特別選抜, 外国人留学生特別選抜及び本学大学院の博士前期課程若しくは修士課程からの進学者を含みます。
	シグナル伝達		
	細 胞 機 能		
	分子情報医学		
	メ デ ィ カ ル A I セ ン タ ー		
	連 携 大 学 院		
生 体 機 能 調 節 医 学 専 攻	内 部 環 境 医 学	37人	第1次募集又は第2次募集で定員に達した場合は, 第2次募集, 第3次募集は実施しない可能性があります。
	器 官 制 御 医 学		
	機 能 再 建 医 学		
	感 覚 統 合 医 学		
	腎 科 学		
	可塑性機能制御		
地 域 疾 病 制 御 医 学 専 攻	国 際 感 染 医 学	14人	
	地 域 予 防 医 学		
	総 合 医 療 評 価 学		
計		73人	

(注) 出願に際しては, あらかじめ志望する教育研究分野の指導教員に問い合わせてください。問い合わせ先の電話番号, Eメールアドレスは博士課程(医学系)案内(43ページ以降)を参照してください。

第2次募集, 第3次募集の実施の有無については, 以下のホームページをご確認ください。

○新潟大学医学部医学科 **HOME**>大学院志望の方へ>博士課程案内

https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/doctor_course/index.html

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別選抜については、本大学院医歯学総合研究科入学時に既に就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる者で、入学後も引き続き職業を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

また、外国人留学生特別選抜については、日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 7 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 7 年 3 月までに修了見込みの者（38 ページ参照）
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和 7 年 3 月までに修了見込みの者（38 ページ参照）
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 7 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程（医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月までに授与される見込みの者（38 ページ参照）
- (6) 文部科学大臣の指定した者（23 ページの注を参照）
- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学の医歯学総合研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者（39 ページ参照）
- (8) 学校教育法第 83 条に定める大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を令和 7 年 3 月までに 4 年以上在学した者で、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了若しくは令和 7 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（40 ページ参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者（40 ページ参照）

注 「2. 出願資格の(6)」の「文部科学大臣の指定した者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本研究科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（38 ページ参照）
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（39 ページ参照）

※ 「2. 出願資格の(2), (3)及び(5)～(9)」に該当する者については、あらかじめ出願資格の確認を行いますので、37 ページの「Ⅲ. 出願資格の確認」に従って確認を受けてください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

3. 出願期間及び出願書類等提出先

(1) 出願期間

第1次募集	令和6年7月8日（月）～7月12日（金）	【必着】
第2次募集	令和6年10月7日（月）～10月11日（金）	【必着】
第3次募集	令和6年12月17日（火）～12月23日（月）	【必着】

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。土・日の受付は行いません。

郵送する場合は、必ず「書留速達」としてください。

(2) 出願書類等提出先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025)227-2015

4. 出 願 書 類 等

志願者は、下記の出願書類等を取りそろえ、出願期間中に直接持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(1) 全員が提出するもの

出 願 書 類 等	摘 要
・入学志願票 ①・受験票 ・写真票	<p>本要項に添付の所定用紙を使用してください。</p> <p>記入にあたっては志願票記載の注意事項に留意してください。</p> <p>なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実に貼ってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
② 検 定 料 30,000 円	<p>本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程（医学系）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日・祝日の振込みは、できません。）</p> <p>第1次募集 令和6年7月1日（月）から7月12日（金） [15時00分]</p> <p>第2次募集 令和6年10月1日（火）から10月11日（金） [15時00分]</p> <p>第3次募集 令和6年12月13日（金）から12月23日（月） [15時00分]</p> <p>③ ATM（現金自動預入払機）での振込みはできません。</p>
③ 検定料納付証明書（新潟大学提出用）	<p>金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄に貼ってください。</p> <p>（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
④ 卒業（見込） 証明書又は学位授与証明書	<p>出身大学の学長（学部長）又は出身学校の学校長が作成したものとしします。</p> <p>本学医学部及び歯学部卒業（見込み）者は、提出する必要はありません。</p>

⑤ 返信用封筒 3枚 ・受験票在中 ・合格通知書在中 ・入学手続書類在中	<p>本要項に添付の返信用封筒3枚を提出してください。</p> <p>封筒の表には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。</p> <p>「受験票在中」封筒には郵便切手354円分を貼ってください。</p> <p>「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。</p> <p>※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。</p>
--	---

(注) 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

(2) 該当する者が提出するもの

(なお、出願資格確認の際に提出した書類については、再度提出する必要はありません。)

⑥ 大学院修士課程 修了（見込）証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。出身大学院の研究科長が作成したものとしします。
⑦ 大学院修士課程 成績証明書	大学院研究科修士課程修了（見込み）者のみ提出してください。
⑧ 研究概要 (社会人特別選抜 出願者のみ)	<p>大学卒業後に行った医学又は歯学に関する研究があれば、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
⑨ 臨床経験概要 (社会人特別選抜 出願者のみ)	<p>大学卒業後の臨床経験がある者は、その概要をA4版の用紙にまとめて提出してください。（様式は適宜）</p> <p>※大学院入学後の研究希望テーマとの関連性も併せて記載してください。</p>
⑩ 在留カードの写し 又はパスポートの写し (外国籍を有する者)	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。

5. 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類等により行います。
入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

(1) 一般選抜

学力検査の日時及び試験内容

試 験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 令和6年8月16日（金）	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 令和6年11月7日（木）	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 令和7年1月21日（火）	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科（医学系）
外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除
を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つに
なります。

注3）外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし、
電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(2) 社会人特別選抜

学力検査の日時及び試験内容

試 験 期 日	時 間	試 験 内 容
第1次募集 令和6年8月16日（金）	10:00～11:30	外国語（英語） （辞書持ち込み可）
第2次募集 令和6年11月7日（木）	13:00～14:30	専 門 科 目 （第一志望の教育研究分野から出題）
第3次募集 令和7年1月21日（火）	15:00～16:30	専 門 科 目 （第二志望の教育研究分野から出題）

注1）希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科（医学系）
外国語試験（英語）合格者については、上記外国語（英語）を免除します。免除
を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2）専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つに
なります。

注3）外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし、
電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(3) 外国人留学生特別選抜

学力検査の日時及び試験内容

試験期日	時間	試験内容
第1次募集 令和6年8月16日(金)	10:00～11:30	外国語(英語) (辞書持ち込み可)
第2次募集 令和6年11月7日(木)	13:00～14:30	専門科目 (第一志望の教育研究分野から出題)
第3次募集 令和7年1月21日(火)	15:00～16:30	専門科目 (第二志望の教育研究分野から出題)

注1) 希望により、新潟大学大学院医学研究科もしくは医歯学総合研究科(医学系)外国語試験(英語)合格者については、上記外国語(英語)を免除します。免除を希望する者は、出願書類の入学志願票中の該当項目に記載してください。

注2) 専門科目の試験方法は、①筆記、②口述、③筆記及び口述、のいずれか1つになります。

注3) 外国語(英語)は辞書(英和・和英・英英)の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

6. 試験場

新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通1番町757番地)

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

第1次募集	令和6年9月12日(木) 午前10時 医学部医学科大講義室前
第2次募集	令和6年12月17日(火) 午前10時 医学部医学科大講義室前
第3次募集	令和7年3月13日(木) 午前10時 医学部医学科大講義室前

上記日時に合格者の受験番号を医学科ホームページで発表します。

また、発表と同時に、合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお、合否に関する電話等による問い合わせには、一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第1次募集	令和7年2月26日(水) から 2月28日(金) まで(必着)
第2次募集	
第3次募集	令和7年3月18日(火) から 3月19日(水) まで(必着)

郵送または持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

② 入学に要する経費

○ 入 学 料 282,000 円（予定額）

（注）入学料免除希望者は、入学手続き時に入学料を納付しないでください。

8. 授 業 料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1）授業料は、入学後、口座引き落としにより納入していただく予定です。

（注2）授業料の納入方法の詳細については、合格者に別途通知します。

（注3）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9. そ の 他

(1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

(2) 障がいの有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願前に出願書類等提出先（23 ページ参照）に相談してください。

(3) 試験当日のマスク着用は任意となります。但し、咳などの体調不良の症状がある場合はマスクの着用をお願いします。マスクを着用している場合、本人確認時は試験官の指示に従いマスクを外していただく場合があります。

(4) 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし、検定料振込み後、出願期間内に書類等を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000 円）を返還します。

検定料の返還については、下記をご参照ください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>

なお、返還対象となった日から 5 年以内に返還の申し出がない場合は、返還請求を辞退したものとさせていただきます。

This is the English translation of the Japanese Application Guide.
The official version is the Japanese Application Guide.

Admission in April 2025 (first application, secondary application, tertiary application) Special entrance examination for international students

1. Enrollment limits

Course	Department	Enrollment limits	Remarks
Molecular and Cellular Medicine	Molecular Genetics	2 2	<p>This is the total of the first application, secondary application, and tertiary application.</p> <p>The number of applicants includes students who advance from general entrance examinations, special entrance examinations for working people, special entrance examinations for international students, and doctoral first semester program or master's program at our university graduate schools.</p> <p>If program capacity is reached after the first and second rounds of applications, then the second and third rounds of applications will not be solicited.</p>
	Signal Transduction Research		
	Cellular Function		
	Molecular Neuroscience and Brain Diseases		
	Medical AI Center		
	Cooperative graduate school		
Biological Functions and Medical Control	Homeostatic Regulation and Development	3 7	
	Cardiovascular and Vital Control		
	Regenerative and Transplant Medicine		
	Sensory and Integrative Medicine		
	Nephrology		
	Functional Neuroscience		
Community Disease Control	Infectious Disease Control and International Medicine	1 4	
	Community Preventive Medicine		
	Medical Informatics and Pharmaceutics		

Total	7 3	
-------	-----	--

(Note1) When applying, please contact your academic advisor in your desired education and research field. Niigata University uses “Inquiry Form” to help students find a prospective supervisor. Please provide us with your information from the following URL:
<https://www.intl.niigata-u.ac.jp/inquiry-form/>

(Note2) Please check the following website for the availability of the second and third rounds of applications.
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/doctor_course/index.html

2. Eligibility for application

For the special entrance examination for international students, persons who do not have Japanese nationality and who fall under any of the following:

- (1) Persons who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy prescribed in Article 83 of the School Education Act, or a course in veterinary medicine, and persons who are expected to graduate by March 2025
- (2) Persons who have completed 18 years of formal school education (the final program must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine), or who is expecting to do so by March 2025
- (3) Persons who have completed 18 years educational curriculum of a country other than Japan by taking a correspondence course provided by a school of that country (the final course must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) in Japan, and persons who expect to complete by March 2025
- (4) Persons who have completed a course of university study in Japan that is conducted at an educational institution of a country other than Japan (and only who have completed 18 years study of school education [the final course must be medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine] in the country) and recognized as being part of the educational system of the country, and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and persons who expect to complete by March 2025
- (5) Persons who have been granted a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a course with a minimum term of study of five years or more (medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine) at a foreign university or other foreign school (This shall be limited to cases where the overall situation of the educational and research activities, etc. has been evaluated by a person who has obtained certification from the government of said foreign country or relevant organizations, or cases where the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology separately has designated as equivalent thereto) (including completion of a course in Japan in correspondence courses offered by a school in said foreign country, and completion of the course at an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), and persons who are expected to be granted such by March 2025
- (6) Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

- (7) Persons who have been admitted to a graduate school pursuant to the provisions of Article 102-2 in the School Education Act (limited to doctoral program in medicine, dentistry, and pharmacy [limited to cases where the minimum term of study which forms the basis of the graduate school pertaining to said program is six years] or veterinary medicine), and who are subsequently recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences as having scholastic ability suitable for receiving education at a graduate level
- (8) Persons who have studied courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy prescribed in Article 83 of the School Education Act, or a course in veterinary medicine for at least four years by March 2025, or persons who have completed 16 years of educational curriculum of a foreign country (limited to courses whose main purpose is cultivate practical clinical ability out of courses in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine) or who expect to complete by March 2025, and persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences as having acquired the designated credits with an excellent academic record
- (9) Persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine, and who will reach 24 years of age by March 31, 2025

Notes Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology in (6) of “2 Eligibility for application” are persons who fall under any of the following:

- (i) Persons who have studied medicine or dentistry at a university faculty of medicine or dentistry under the old University Ordinance (Imperial Ordinance No. 388 of 1918) and have graduated from such school
- (ii) Persons who have graduated from the National Defense Medical College under the Defense Agency Act (No. 164 of 1954)
- (iii) Persons who have completed a master's program or course of the professional graduate school under Article 99, Paragraph 2 of the School Education Act (Act No. 26 of 1947) and can receive a master's degree, and persons who have been enrolled in a doctoral program without a first or second semester classification for at least two years, have acquired at least 30 credits, and have received the necessary research supervision (including persons who fall under Article 6, Item 1 of the Rules for Degrees [Ordinance of the Ministry of Education No. 9 of 1953] prior to revision by the ministerial ordinance revising a part of the Rules of Degrees [Ordinance of the Ministry of Education No. 29 of 1974]) and who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine
- (iv) Persons who have engaged in research for at least two years at a university, research institute, etc., after graduating from a university (excluding courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry,

and pharmacy, or a course in veterinary medicine), or who have completed 16 years of educational curriculum of a foreign country, and persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of students who have graduated from courses whose main purpose is to cultivate practical clinical ability out of those in medicine, dentistry, and pharmacy, or a course in veterinary medicine based on said research results

- * Persons who fall under any of requirements (2), (3), and (5) to (9) of “2. Eligibility for application” will be checked their eligibility in advance. Please receive confirmation in accordance with “III. Confirmation of eligibility for application”.
However, persons who fall under Note (i) or (ii) of (6) in "2. Eligibility for application" are not required to have their eligibility confirmed.

3. Application period and place of submission of application documents

(1) Application period

First application	From Monday, July 8 to Friday, July 12, 2024 (applications must arrive within this period)
Secondary application	From Monday, October 7 to Friday, October 11, 2024 (applications must arrive within this period)
Tertiary application	From Tuesday, December 17 to Monday, December 23, 2024 (applications must arrive within this period)

Send it by mail or bring it with you. If you send it by mail, it should be registered express mail, and if you bring it with you, reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m.

(2) Place of submission of application documents

757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510

Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine

Telephone (025)227-2015

4. Application documents

Applicants are required to prepare the following application documents and bring them directly or send them by registered express mail during the application period.

(1) Items submitted by all applicants

Application documents	Description
- Admission application form	Use the designated form attached with this application guidebook. Please pay attention to the notes on the application form when filling it out.
(i) - Examination card	Be sure to affix the Certificate of Payment of Examination Fee (for submission to Niigata University) to the designated area. (*Make sure that

- Photograph card	the receipt stamp of the financial institution is affixed.)
(ii) Examination fee 30,000 yen	<p>Complete the required areas in the Transfer Request Form (Entrance Examination Fee for the Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences [Doctoral Program] (Med.Field)), Transfer Money and Transfer Fee Receipt (Retained by the Applicant), Certificate of Payment of examination Fee (for submission to Niigata University) attached to this guideline. Give due consideration to the following, take the form to a financial institution excluding Japan Post Bank (Yucho) without detaching the receipt and the certificate from the form, and pay the examination fee at the bank counter. Be sure to have the receipt stamp of the financial institution affixed.</p> <p>Applicants are required to bear the cost of the transfer fee.</p> <p>(i) The applicant's name must be entered in the payer's name column.</p> <p>(ii) Transfer of the examination fee must be made within the following periods: (*You cannot transfer money on Saturdays, Sundays, or national holidays.)</p> <p>First application From Monday, July 1 to Friday, July 12, 2024(3:00 p.m.)</p> <p>Secondary application From Tuesday, October 1 to Friday, October 11, 2024(3:00 p.m.)</p> <p>Tertiary application From Friday, December 13 to Monday, December 23, 2024(3:00 p.m.)</p> <p>(iii) You cannot make a transfer at an ATM (automated teller machine).</p>
(iii) Certificate of Payment of Examination Fee (for submission to Niigata University)	<p>Affix the examination fee payment certificate (for submission to Niigata University) received at the bank to the designated area on the admission application form.</p> <p>(*Make sure that the receipt stamp of the financial institution is affixed.)</p>
(iv) Certificate of (expected) graduation or certificate of diploma	<p>It shall be prepared by the president of the university (faculty) or the principal of the school from which you graduated.</p> <p>Graduates (expected graduates) of School of Medicine and Faculty of Dentistry are not required to submit this.</p>
(v) Return envelope Three envelopes - Envelope containing entrance examination card - Envelope containing admission letter - Envelope containing admission procedure documents	<p>Use three return envelopes attached with this application guidebook. Write your zip code, address, and name on the envelope. Affix 354 yen worth of postage stamps onto the envelope containing entrance examination card.</p> <p>It is not necessary to affix postage stamps onto nor the envelope containing the admission letter or the envelope containing the admission procedure documents.</p>

(Note) If your current name is different from the name on the certificate of graduation, please submit a document that confirms the fact that you changed your name such as an abstract of family register (a copy is acceptable).

(2) Items submitted by applicable persons

(It is not necessary to resubmit documents submitted at the time of confirmation of eligibility.)

(vi) Certificate of (expected) completion of master's program in graduate school	Only persons who have completed master's program at a graduate school should submit this. It shall be prepared by the dean of the graduate school from which you graduated.
(vii) Academic transcript for master's program in graduate school	Only persons who have completed master's program at a graduate school should submit this.
(viii) A copy of residence card or a copy of passport (Non-Japanese applicants)	Submit a copy of your residence card (front and back). However, if you are unable to submit your residence card due to reasons such as it is before your coming to Japan, please submit a copy of your passport (page with name, etc.).

5. Method of selection when selecting students

The selection of new students will be made by academic examinations (written and oral) and application documents.

The selection of new students will be made by integrating the results of said examinations.

Date and content of the academic examination

Date of examination	Time	Content of examination
First application Friday, August 16, 2024	10:00-11:30 a.m.	Foreign language (English) (Dictionaries may be brought in.)
Secondary application Thursday, November 7, 2024	1:00-2:30 p.m.	Specialized subject (Questions from the field of education and research of your first choice)
Tertiary application Tuesday, January 21, 2025	3:00-4:30 p.m.	Specialized subject (Questions from the field of education and research of your second choice)

Note 1) Students who have passed the foreign language test (English) at the Niigata University Graduate School of Medicine or Medical and Dental Sciences will be exempted from the above foreign languages (English) if they wish. Persons who wish to be exempted should fill in the relevant fields on the admission application form.

Note 2) The examination method for specialized subjects must be one of (i) written, (ii) oral, or (iii) written and oral.

Note 3) English-Japanese dictionary, Japanese-English dictionary and English-English dictionary are allowed to bring in for the foreign language (English). However, digital dictionaries and medical dictionaries cannot be used.

6. Test site

Niigata University School of Medicine (757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City)

7. Admission announcements and admission procedure

(1) Admission announcements

First application	Thursday, September 12, 2024, 10 a.m. Front of the auditorium of the School of Medicine Faculty of Medicine
Secondary application	Tuesday, December 17, 2024, 10 a.m. Front of the auditorium of the School of Medicine Faculty of Medicine
Tertiary application	Thursday, March 13, 2025, 10 a.m. Front of the auditorium of the School of Medicine Faculty of Medicine

The examinee numbers of successful applicants will be announced on the School of Medicine Faculty of Medicine's website.

The admission letters will be also sent to the successful applicants.

We will not respond to any telephone inquiries regarding acceptance or rejection.

(2) Admission procedure

The outline of the admission procedures is as follows. Detailed information will be notified to successful applicants.

(i) Admission procedure period

First application	From Wednesday, February 26 to Friday, February 28, 2025 (applications must arrive within this period)
Secondary application	
Tertiary application	From Tuesday, March 18 to Wednesday, March 19, 2025 (applications must arrive within this period)

Send it by mail or bring it with you. If you send it by mail, it should be registered express mail, and if you bring it with you, reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m.

(ii) Expenses required for admission

Entrance fee 282,000 yen (estimated)

(Note) Applicants who wish to be exempted from paying the entrance fee should not pay it during the admission procedure.

8. Tuition fee

Annual amount: 535,800 yen (first semester: 267,900 yen, second semester: 267,900 yen) [estimated amount]

(Note 1) Tuition fees are scheduled to be paid by direct debit after enrollment.

(Note 2) Detailed information about payment method for tuition fees will be notified to successful applicants.

(Note 3) If tuition is revised while you are in school, the new tuition will be applied from the time of revision.

9. Other

(1) Changes in the contents of application documents after submission are not permitted.

(2) Persons with disabilities who require special attention for the entrance examinations and study should consult with the place of submission of application documents before applying.

- (3) Examination fees already paid will be not refunded and application documents already submitted will not be returned.

However, if the application documents are not submitted within the application period after the payment of the examination fee, it (30,000 yen) will be refunded.

For information on the refund of examination fees, please refer to the following website.

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>

If you do not request a refund within 5 years of the date you became eligible for the refund, we will assume that you have declined the request.

Ⅲ. 出 願 資 格 の 確 認

「2. 出願資格の(2), (3) 及び(5)～(9)」に該当する者については、必ず下記「5 問い合わせ先」へ電話連絡の上、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

ただし、「2. 出願資格の(6)」の注①又は②に該当する者は、出願資格の確認は必要ありません。

なお、事前連絡なく出願があった場合は、受理できない場合があります。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお、外国語で作成された書類には、日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格の審査書類は、持参（午前8時30分から午後5時までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）または、郵送により送付してください。

3 提出期限

令和6年10月入学	令和6年6月5日（水）～ 令和6年6月14日（金）【必着】
令和7年4月入学 （第1次募集）	
令和7年4月入学 （第2次募集）	令和6年9月4日（水）～ 令和6年9月13日（金）【必着】
令和7年4月入学 （第3次募集）	令和6年11月6日（水）～ 令和6年11月15日（金）【必着】

4 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願期間開始前までに、本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は、出願手続きを行ってください。

5 問い合わせ先

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話 (025) 227-2015

○各出願資格について

1. 「出願資格（2），（3），（5）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 出願資格確認用履歴書	
③ 卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 成績証明書	
⑤ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑥ 在留カードの写し又はパスポートの写し（外国籍を有する者）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手354円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。

※ ③，④については，本物（オリジナル）を提出し，必ず和訳文を添付してください。

2. 「出願資格（6）の注③」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 修了（見込）証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	出身（在学）大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手354円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。

3. 「出願資格（6）の注④」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	本要項に添付の所定用紙により、大学等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等がある場合は、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 臨床経験証明書及び職務内容証明書	臨床経験がある場合のみ提出してください。（様式任意）
⑥ 在留カードの写し又はパスポートの写し（外国籍を有する者）	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 354 円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。

4. 「出願資格（7）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 成績証明書	出身大学の学長（学部長）及び在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 在学証明書	在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。 なお、本学大学院在学者は不要です。
④ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 354 円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。

5. 「出願資格（8）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 在学証明書	現在も在学中の者のみ、在学大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。 なお、本学在学者は不要です。
③ 成績証明書	在学（出身）大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	業績・研究等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により提出してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手354円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。

※ 本出願資格で入学する者は、当該大学の学部を退学することになります。従って種々の国家試験等の受験資格で大学の学部を卒業することを要件としているものについては、受験資格が得られないことになります。

6. 「出願資格（9）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
③ 成績証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
④ 研究業績調書及び研究経過報告書	学校等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等（短期大学又は高等専門学校の特攻科等の修了者は、専攻科等における業績、研究状況等を含む。）がある場合は、本要項の所定用紙により、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手354円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は、適正な金額の郵便切手を貼ってください。

This is the English translation of the Japanese Application Guide.
The official version is the Japanese Application Guide.

Confirmation of eligibility for application

Persons who fall under any of requirements (2), (3), and (5) to (9) in “2. Eligibility for application” must contact "5. Contact information" below by phone and apply after receiving confirmation of eligibility.

However, persons who fall under Note (i) or (ii) of (6) in "2. Eligibility for application" are not required to have their eligibility confirmed.

Applications filed without prior notice may not be accepted.

1. Documents for submission

Make sure to attach Japanese translations to documents written in foreign languages.

2. Submission method

Bring the eligibility for application screening documents with you (reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m., excluding Saturdays, Sundays, and national holidays) or send by mail.

3. Time limit for submission

Admission in October 2024	Friday, June 14, 2024 (applications must arrive within this period.)
Admission in April 2025 (First application)	
Admission in April 2025 (Secondary application)	Friday, September 13, 2024 (applications must arrive within this period.)
Admission in April 2025 (Tertiary application)	Friday, November 15, 2024 (applications must arrive within this period.)

4. Results of the eligibility screening

Results of the eligibility screening will be sent to the applicant before the application period. Persons who have received the confirmation of eligibility should proceed with the application procedure.

5. Contact information

757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510

Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine

Telephone (025)227-2015

6. Documents for submission

Documents for submission	Description
(i) Eligibility screening application form	Use the designated form attached with this application guidebook.
(ii) Curriculum vitae for confirmation of eligibility for application	
(iii) Certificate of graduation (completion) or certificate of expected graduation (completion)	Submit the one prepared by the president of the university (faculty) from which you graduated.
(iv) Academic transcript	
(v) Research achievement report and research progress report	If you have achievements or research in medical institutions and research institutions, etc. after graduating from (completing) university, fill out the form attached to this guideline in detail.
(vi) A copy of residence card or a copy of passport (Non-Japanese applicants)	Submit a copy of your residence card (front and back). However, if you are unable to submit your residence card due to reasons such as it is before your coming to Japan, please submit a copy of your passport (page with name, etc.).
(vii) Return envelope	Write your zip code, address, and name on the envelope (Nagagata No.3) and affix a postage stamp worth 354 yen.

*As for (iii) and (iv), submit the original and be sure to attach Japanese translation.

IV. 本研究科所定用紙（出願書類等）

V. 新潟大学大学院医歯学総合研究科
博士課程（医学系）案内

1. 組織及び教育研究内容

注1. Telは「025（市外局番）－227（局番）」の表記を、e-mailは「niigata-u.ac.jp」の表記を省略しています。

（分子細胞医学専攻の連携大学院を除く。）

注2. ※の指導教員は兼任を示します。

注3. 指導教員が不在の分野は、問い合わせ先を掲載しています。

専攻	大講座	教育研究分野	指導教員	教育研究内容
分子細胞医学	遺伝子制御	オミクス生物学	松本 雅記 Tel 2077 e-mail masakim@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・オミクス技術によるがんや老化の分子基盤に関する研究 ・タンパク質動態制御機構に関する研究 ・マルチオミクス計測によるシステム生物学的研究 ・タンパク質化学やプロテオミクスにおける技術開発
		分子・診断病理学	※ 大橋 瑠子 Tel 2093 e-mail riuko@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの臨床病理学・分子病理学・病理診断技術に関する研究 ・がんの悪性度診断の精度向上に関する研究 ・炎症・代謝性疾患の臨床病理学・分子病理学 ・デジタルパソロジー・AI病理診断に関する研究
		腫瘍放射線医学	※ 石川 浩志 Tel 2315 e-mail iskw@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線腫瘍学に関する臨床研究 ・放射線治療方法にかかわる基礎的研究 ・放射線治療後の健康関連生活の質に関する研究 ・医学物理に関する研究
		生殖器官制御	吉原 弘祐 Tel 2317 e-mail yoshikou@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・HPVワクチンの有効性とHPV感染による発癌メカニズム ・婦人科悪性腫瘍幹細胞の同定と臨床応用 ・正常子宮内膜のゲノム異常に注目した子宮内膜関連疾患の病態解明 ・卵巣癌の病態解明と新規治療法の開発
		肝臓病学	※ 寺井 崇二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器再生医学に関する研究 ・消化・吸収・代謝に関する研究 ・代謝に関わる免疫、脂肪化、線維化、癌化に関する研究 ・Exosomeに関する研究（治療・診断） ・バイオマテリアルを用いた応用研究・橋渡し研究（遺伝子治療、細胞治療、内視鏡を用いた低侵襲治療）
		腫瘍外科学	※ 若井 俊文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍外科学に関する研究 ・早期DNA損傷修復機構に関する研究 ・抗癌剤耐性機序/抗癌剤増感作用に関する研究 ・次世代シーケンス解析・プロテオーム解析を用いた癌の分子生物学に関する研究 ・癌細胞内シグナル伝達系パルスウェイ解析 ・癌微小環境に作用する脂質メディエーターS1Pに関する研究 ・腸内細菌叢に関する研究 ・医療用人工知能AIに関する研究
		分子精神医学	※ 問合せ先 准教授 江川 純 Tel 2212 e-mail jeg5414@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・培養神経細胞の神経突起・シナプス発達を表現型に用いた自閉スペクトラム症リスク遺伝子の機能解析 ・統合失調症や自閉スペクトラム症の分子遺伝研究 ・向精神薬の効果や副作用に関するゲノム薬理研究
		腫瘍学	問合せ先 准教授 周 啓亮 Tel 025-368-9004 e-mail zhouql@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍内科学一般 ・がん薬物療法、特に分子標的治療に関する研究 ・幹細胞と臓器再生に関する研究
	シグナル伝達	分子細胞機能学	問合せ先 准教授 中津 史 Tel 2084 e-mail nakatsu@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経成長・再生とシナプス形成に関する生化学的研究 ・神経成長円錐の構造と機能に関する研究 ・脂質の代謝と輸送に関する生化学的研究 ・脂質による炎症性シグナル、ウイルス感染や神経成長の制御機構とその疾患の研究 ・脂質を中心とした蛍光イメージングや光操作法の開発

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	シグナル伝達	薬理学	平 島 正 則 Tel 2087 e-mail masanori@med.	<ul style="list-style-type: none"> リンパ管発生の分子機構に関する研究 リンパ管パターンに影響を与える血管由来因子に関する研究 胎児疾患モデルマウスの作製とその病態に関する研究 脈管の性質変化がもたらす病態の悪化に関する研究
		分子腫瘍学	※ 問合せ先 准教授 齋藤 和英 Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	<ul style="list-style-type: none"> 泌尿生殖器腫瘍一般 泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 泌尿生殖器腫瘍の治療 <ul style="list-style-type: none"> a 化学療法 b 免疫療法 c 手術療法と尿路再建
	細胞機能	組織学	芝 田 晋 介 Tel 2058 e-mail shibatas@med.	<ul style="list-style-type: none"> 様々な細胞や組織の構造機能解析とイメージング研究 神経発生および神経再生のメカニズムの研究 ヒトiPS細胞由来神経による人工神経の開発研究 神経活動を電子顕微鏡で捉える新規イメージング法開発 神経変性疾患に伴う組織学的変化を可視化する新規イメージング法開発研究 慢性疼痛および癌性疼痛の発生メカニズム研究 ヒト特異的な知性獲得機構の解明研究 Hirschsprung病の発症機序の研究 神経幹細胞の維持機構の研究 光学顕微鏡と電子顕微鏡など各種の顕微鏡技法を組み合わせた細胞および組織構造のイメージング研究 コンピュータを用いた新規画像解析法の開発
		分子細胞病理学	問合せ先 助教 高田 尚良 Tel 2106 e-mail ktakata@med.	<ul style="list-style-type: none"> 分子機能解析と病理病態の解析を総合した腫瘍病理学研究 人体病理診断学の研修と資格取得のための学位研究（病理専門医資格の取得のための学習） ゲノム遺伝子レベル及びタンパクレベルの検出を用いた病理診断技術の研究（分子病理専門医資格のための学習）
		消化器内科学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス性肝炎に関する研究 肝癌の病態生理に関する研究 肝疾患の免疫に関する研究 消化管腫瘍の病態に関する研究 炎症性腸疾患に関する研究 ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究
		皮膚科学	阿 部 理 一 郎 Tel 2282 e-mail aberi@med.	<ul style="list-style-type: none"> 毛組織関連遺伝子発現の研究 皮膚電子顕微鏡学 皮膚遺伝性疾患の研究 皮膚アレルギー疾患の研究
		生殖医学病態解析	※ 吉 原 弘 祐 Tel 2317 e-mail yoshikou@med.	<ul style="list-style-type: none"> HPVワクチンの有効性と安全性の検証 婦人科がん幹細胞の同定と臨床応用 マルチオミックス解析に基づいた婦人科癌の病態解明と新規治療法の開発 正常子宮内膜のゲノム異常に注目した子宮内膜関連疾患の病態解明 産婦人科領域の3次元病理学の確立 胎盤の3次元構造解析および空間的トランスクリプトーム解析による周産期疾患の病態解明
		分子・病態病理学	※ 大 橋 瑠 子 Tel 2093 e-mail riuko@med.	<ul style="list-style-type: none"> がんの細胞機能・病態病理の解明 がんの発生・発育進展様式に関する病理学的研究 マルチオミックス病理データベース構築と解析手法に関する研究
		生殖・周産期医学病態解析	西 島 浩 二 Tel 2320 e-mail kojigyne@med.	<ul style="list-style-type: none"> 超音波診断を用いた胎児の生理・病理の解明 モデルマウスを用いた妊娠高血圧症候群の病態解明 正常胎盤・異常胎盤の3次元構造解析 早産児の消化管保護に関する研究 不育症と免疫関連疾患に関する研究
	分子情報医学	分子神経生物学		※今年度募集なし

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	分子情報医学	脳神経内科学	小 野 寺 理 Tel 0683 e-mail onodera@bri. 問合せ先 准教授 金澤 雅人 Tel 0666 e-mail masa2@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、ALS等の神経難病の病態と治療 ・脳血管障害の病態と治療 ・免疫性神経筋疾患の病態と治療 ・多彩なモデル動物を利用した神経難病の病態解明 ・脳神経回路の再編、再生に関する研究
		脳神経外科学	大 石 誠 Tel 0651 e-mail mac.oishi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経腫瘍の病態・治療の研究 ・脳血管障害の病態・治療の研究 ・機能的脳疾患の病態・治療の研究 ・小児脳神経疾患の病態・治療の研究 ・ヒト高次脳機能の病態・治療の研究 ・ヒト脳皮質再構築の機序と臨床応用の研究
		神経機能・発生・生殖工学	笹 岡 俊 邦 Tel 2163 e-mail sasaoka@bri. 准教授 阿部 学 Tel 0621 e-mail manabu@bri.	<p>基礎医学研究においてモデル動物として有用な遺伝子改変動物を作製し、行動学、生化学、組織学、生理学的解析などを行います。また、国内外の研究者との高次脳機能解明に関する共同研究も多数行っており、研究を通して最新の脳神経科学、分子生物学や生殖・発生工学に関する知識と技術を習得することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾患モデル動物の作製と遺伝子改変技術の開発 ・生殖補助医療等にも応用可能な生殖・発生工学技術開発 ・遺伝子改変動物を用いた脳機能分子の生理機能解析
		神経病因遺伝学	池 内 健 Tel 2343 e-mail ikeuchi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー病のバイオマーカー研究 ・アルツハイマー病の関連遺伝子の同定 ・家族性アルツハイマー病の病態と治療研究 ・認知症の分子病態研究 ・神経疾患の生体試料バイオバンク構築
		細胞病態学	三 國 貴 康 Tel 0926 e-mail tmikuni@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・生体脳でのゲノム編集技術の開発と応用 ・生体脳での分子イメージング技術の開発と応用 ・学習記憶の生理の分子レベルでの理解 ・発達障害の疾患モデルの迅速な作製 ・発達障害の病態の分子レベルでの理解 <p>*当分野では、神経科学研究の発展に貢献する独自の技術を開発します。二光子顕微鏡や電気生理などの手法と組み合わせて、生体脳における「学習・記憶の生理」と「発達障害の病態」を分子レベルの解像度で理解することを目指します。卒業後の研究の場としては、国内だけではなく海外の研究室にも紹介可能です。</p>
		腫瘍病態学		※今年度募集なし
		脳病態解析学	松 井 秀 彰 Tel 0646 e-mail hide0729@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室の方針：難病を克服する-障害を支え合う-科学の歴史を刻む ・難病や老化の病態研究、病気の中で現在特に力を入れているのはパーキンソン病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症などの神経変性疾患です。 ・発達障害のメカニズム研究 ・製薬企業や食品メーカーとの共同研究 ・培養細胞、小型魚類、マウス、ヒト剖検脳など様々な研究対象を比較して、難病や老化の本質を知ろうとする点が特徴です。
	メディカルAIセンター	バイオインフォマティクス	奥 田 修 二 郎 Tel 0390 e-mail okd@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腸内細菌叢のメタゲノムデータの解析手法の研究 ・腸内細菌叢の相互作用と疾患因子の関連についての研究 ・がんゲノムデータの解析手法の研究 ・リン酸化サイトの比較ゲノム研究 ・各種オミクスデータのデータベース構築 ・医療用人工知能の開発

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
分子細胞医学	* 連携大学院 (客員教授)	神経精神薬理学	池 田 和 隆 Tel 03-6834-2390 e-mail ikeda-kz@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・依存症のゲノム解析, 行動薬理学的解析, 臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析, 行動薬理学的解析, テーラーメイド医療への応用 ・自閉症, AD/HDなどの発達障害の行動薬理学的, 分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
		分子遺伝学	吉 川 欣 亮 Tel 03-5316-3311 e-mail kikkawa-ys@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・哺乳類遺伝学を基盤としたヒト疾患の発症に関与する遺伝子群の同定 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
		神経工学	西 村 幸 男 Tel 03-6834-2373 e-mail nishimura-yk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・人工神経接続による脳機能再建法の開発とその臨床応用 ・脳脊髄損傷後の機能回復メカニズムの解明 ・意欲・情動による身体運動制御の神経メカニズムの解明
		小児脳病態学	佐 久 間 啓 Tel 03-6834-2358 e-mail sakuma-hs@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・ミクログリアの発達・分化の分子基盤 ・小児のウイルス関連急性脳症の病態解明 ・小児の自己免疫性脳炎の診断技術の開発
		生物学的精神医学	新 井 誠 Tel 03-6834-2380 e-mail arai-mk@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・統合失調症のゲノム、症例研究を基軸とする分子基盤の解明 ・統合失調症のバイオマーカー同定とその分子基盤の解明 ・マウス・細胞モデルを活用した統合失調症の分子基盤の解明 ・社会還元のための疾患層別化と個別化治療・早期支援法の開発
		統合精神脳科学	糸 川 昌 成 Tel 03-6834-1779 e-mail itokawa-ms@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・精神・神経疾患の基礎的・臨床的研究 ・ヒトの精神・行動に関する基礎的・臨床的研究
		分子神経病理学	長 谷 川 成 人 Tel 03-6834-2349 e-mail hasegawa-ms@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・神経変性疾患の発症・進行機構の解明 ・病態を再現する細胞・動物モデルの解析 ・神経変性疾患の診断マーカーの探索 ・神経変性疾患の根本的治療法の開発
		脳神経発生学	丸 山 千 秋 Tel:03-6834-2367 e-mail maruyama-ck@igakuken.or.jp	(公財) 東京都医学総合研究所 ・マウスモデルを用いた脳形成メカニズム ・種間比較による脳発生の比較進化的解析 ・脳形成異常の分子メカニズム解明 ・精神・神経疾患の基礎的研究
		機能ゲノム科学	川路 英哉 Tel:03-5316-3128 e-mail kawaji-hd@igakuken.or.jp	・ゲノム機能領域の同定および機能解明 ・ゲノム機能・RNA解析技術の開発 ・ゲノム科学的アプローチによる疾患研究およびバイオマーカー探索

*上記の研究機関で研究を行い、新潟大学大学院医歯学総合研究科で学位を取得することが可能です。

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
生 体 機 能 調 節 医 学	内部環境医学	腎・膠原病内科学	問合せ先 准教授 後藤 眞 Tel 2193 e-mail gotos@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・原発性糸球体疾患の原因と病態の分子生物学的解析 ・原発性および続発性腎疾患の臨床病理学的研究 ・新規血液浄化療法の開発と再生医療 ・腎性貧血の治療法に関する研究 ・リウマチ・自己免疫疾患の成因の解明と治療法の開発 ・糖尿病・高血圧の病態解明と治療 ・腎臓病における病態栄養学 ・生活習慣病の成因と予防に関する大規模疫学研究 ・先天性腎疾患の遺伝子解析と治療法の開発
		呼吸器内科学	菊 地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器疾患に関する研究 ・呼吸器感染症に関する研究 ・心身医学に関する研究 ・胸部悪性腫瘍に関する研究
		小児科学	齋 藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児・未熟児の発達生理に関する研究 ・小児各種疾患の病態に関する研究（感染症，腎臓，血液・腫瘍，循環器，内分泌・代謝疾患など） ・小児の各種疾患の分子生物学的研究（感染症，腎臓，血液・腫瘍，循環器，内分泌・代謝疾患など）
		内分泌・代謝学	曾 根 博 仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病、脂質異常症、高血圧、肥満などの代謝疾患 ・生活習慣病や動脈硬化疾患、内分泌疾患の病因解明、食事・運動療法を含む予防 ・治療法に関する医療ビッグデータ解析（特に人工知能（AI）の活用）、医療保健アプリの開発、臨床疫学、コホート研究を含む大規模臨床研究、メタアナリシス、医療経済学 ・上記疾患ならびにその合併症の発症・重症化メカニズムの解明と新規治療法開発のための基礎研究
		臨床免疫学		※今年度募集なし
		緩和医療学	※ 問合せ先 准教授 周 啓亮 Tel 025-368-9004 e-mail zhouql@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアにおける身体的症状緩和に関する研究 ・緩和医療で使用されるオピオイドを中心とした鎮痛薬の研究 ・がん診断時から緩和ケアを実践するための体制整備に関する研究
	器官制御医学	循環器学	猪 又 孝 元 Tel 2182 e-mail inotaka@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・動脈硬化や代謝性疾患に関する基礎・臨床研究 ・不整脈の病態と治療に関する基礎・臨床研究 ・心疾患の病態と治療に関する基礎・臨床研究
		呼吸循環外科学	問合せ先 准教授 白石 修一 Tel 2242 e-mail sshuichi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器外科・腫瘍学 ・心臓外科 ・血管外科 ・人工臓器・抗血栓治療 ・心肺及び組織移植
		麻酔科学	馬 場 洋 Tel 2323 e-mail baba@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔薬の作用メカニズム ・急性痛のメカニズムと術中術後疼痛管理 ・神経障害性疼痛のメカニズムと治療法 ・臨床神経生理・神経薬理（術中神経系モニタリング） ・臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）
		救命救急医学	西 山 慶 Tel 2338 e-mail keinishi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制に関するデータサイエンス ・蘇生に関する研究 ・重症患者管理に関する研究 ・人工知能を用いた診療法の開発に関する研究
		病理形態学	※ 問合せ先 助教 高田 尚良 Tel 2106 e-mail ktakata@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・分子機能解析と病理病態の解析を総合した腫瘍病理学研究 ・人体病理診断学の研修と資格取得のための学位研究（病理専門医資格の取得のための学習） ・ゲノム遺伝子レベル及びタンパクレベルの検出を用いた病理診断技術の研究（分子病理専門医資格のための学習）

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
生体機能調節医学	機能再建医学	解剖学	佐 藤 昇 Tel 2045 e-mail nsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・運動神経と骨格筋の形成に関する研究 ・脊椎動物の進化に関する研究 ・脳における新規分子の機能に関する研究 ・生体への遺伝子導入とイメージングに関する研究
		発達生理学	杉 山 清 佳 Tel 2071 e-mail sugiyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・経験が個性的な神経回路を形成する仕組みの研究 ・感覚、情動の発達期を制御する分子的、生理的機能の研究 ・動物の行動と情動の基盤となる回路の可視化の研究 ・動物の行動と情動を解析する画像認識システムの開発 ・こどもの柔軟な回路形成を大人で再現する方法の探索 ・発達障害や精神疾患への応用を検討
		消化器・一般外科学	若 井 俊 文 Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管外科 ・肝臓・胆道・膵臓外科 ・食道・胃外科 ・大腸外科 ・乳腺・内分泌外科 ・外科代謝・栄養学 ・臓器移植（肝臓・膵臓）
		整形外科	川 島 寛 之 Tel 2272 e-mail inskawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・運動器（骨・関節・軟骨・筋肉・神経）の修復・再生に関する研究 ・骨・関節・腱・靱帯のバイオメカニクスに関する研究 ・脊椎・脊髄疾患の病態と修復・再生に関する研究 ・手の外科疾患の病態と治療，マイクロサージェリーに関する研究 ・骨・軟部腫瘍の病態と治療に関する研究 ・関節リウマチの病態と治療に関する研究 ・骨粗鬆症と高齢者脆弱性骨折に関する研究 ・サルコペニア，フレイルに関する研究 ・運動器リハビリテーションとQOLに関する研究 ・四肢・骨盤/脊椎・脊髄外傷とその修復再建に関する研究 ・四肢における人工関節に関する研究
		小児外科学	木 下 義 晶 Tel 2258 e-mail kinoppy@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児外科疾患に関する研究 ・小児内視鏡外科に関する研究 ・小児固形悪性腫瘍に関する研究 ・小児泌尿器外科疾患に関する研究 ・小児先天性呼吸器疾患に関する研究 ・小児肝胆膵疾患に関する研究 ・小児外科代謝栄養に関する研究 ・小児鼠径部疾患に関する研究
		腎・泌尿器病態学	問合せ先 准教授 齋藤 和英 Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腎・泌尿器男性生殖器の構造と機能 ・泌尿器科腫瘍学 ・尿路結石の発生のメカニズム ・泌尿器生理学とその病態生理 ・腎移植と免疫抑制療法 ・尿路形成手術・泌尿器科内視鏡学 ・泌尿器科的内分泌 ・アンドロロジー
		血液学	※ 曾 根 博 仁 Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・造血細胞の分化と白血病の病態に関する基礎的・臨床的研究（AIを活用したビッグデータ解析を含む） ・リンパ増殖性疾患の病態と治療開発に関する病理学的・臨床的研究 ・同種造血幹細胞移植に関わる移植免疫，幹細胞学の基礎的・臨床的研究 ・血栓止血・血管生物学に関する基礎的・臨床的研究
		消化器病態修復学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器再生医学に関する研究 ・消化・吸収・代謝に関する研究 ・代謝に関わる免疫，脂肪化，線維化，癌化に関する研究 ・炎症と腸内細菌，Helicobacter Pylori，エクソソームに関する研究 ・バイオマテリアル，3Dプリンターを用いた応用研究 ・橋渡し研究（遺伝子治療，細胞治療，エクソソーム治療，デザイナー細胞，内視鏡を用いた低侵襲治療） ・B型およびC型肝炎ウイルスに関する研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
生 体 機 能 調 節 医 学	感覚統合医学	脳機能形態学	竹 林 浩 秀 Tel 2053 e-mail takebaya@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系の発生および生後発達に関する研究 ・神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析 ・RNA制御を介した神経系細胞機能の解析 ・再生医学による疾患克服を目指した基礎研究 ・モデル動物を用いた神経変性疾患の病態と治療に関する研究
		神経生理学	長 谷 川 功 Tel 2068 e-mail isaohasegawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚認知/イメージ/記憶の霊長類大脳メカニズム ・文字言語の霊長類大脳メカニズム ・社会認知の霊長類大脳メカニズム ・全脳電気記録法や光/化学遺伝学的脳回路操作法の開発
		精神医学	問合せ先 准教授 江川 純 Tel 2212 e-mail jeg5414@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころの理論」を担う神経回路の解析 ・培養神経細胞の神経突起・シナプス発達を表現型に用いた自閉スペクトラム症リスク遺伝子の機能解析 ・脳磁図を用いた自閉スペクトラム症の脳病態研究 ・統合失調症や自閉スペクトラム症の分子遺伝研究 ・向精神薬の効果や副作用に関するゲノム薬理研究 ・治療抵抗性うつ病のバイオマーカーに関する臨床薬理研究 ・周産期うつ病の心理社会的因子およびバイオマーカーに関する周産期メンタルヘルス研究
		眼科学	問合せ先 准教授 赤 木 忠 道 Tel 2293 e-mail akagi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障性視神経症の細胞生物学的病態解明 ・緑内障治療のエビデンスと開発 ・原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障の遺伝子解析 ・緑内障性視野障害とQOLの関連 ・眼科手術学・レーザー治療学 ・眼感染症・化学療法、眼薬理学 ・眼病理学 ・神経眼科学 ・小児眼科学 ・臨床視覚電気生理学
		耳鼻咽喉科学	堀 井 新 Tel 2303 e-mail ahorii@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経耳科学、めまい平衡医学 ・側頭骨外科学 ・鼻科学 ・口腔咽頭科学 ・音声言語学 ・頭頸部腫瘍学 ・気管・食道科学
		機能画像医学	石 川 浩 志 Tel 2315 e-mail iskw@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線診断学に関する研究 ・肺腫瘍の画像診断に関する研究 ・新たな画像撮像法の応用に関する研究 ・画像診断手技を用いた種々の治療法に関する研究
	腎科学	機能制御学		※今年度募集なし
		腎分子病態学	問合せ先 准教授 福住 好恭 Tel 2160 e-mail fukusumi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・腎糸球体の発生・分化の分子機構の解明 ・糸球体血管壁のバリアー機構の解明 ・腎病変発症・進展機序に関する研究 ・腎病変の新規治療法開発に向けた基礎研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
生体機能調節医学	可塑性機能制御	神経病理学	柿 田 明 美 Tel 0673 e-mail kakita@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 ・神経精神疾患の神経病理学的研究 ・脳腫瘍やてんかん病巣の病態病理学的研究 ・神経変性疾患や免疫疾患の病態病理学的研究 ・発生発達期脳障害の病態病理学的研究
		脳機能解析学	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 准教授 伊 藤 浩 介 Tel 0676 e-mail itoh@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・機能画像法を用いたヒト脳機能の研究 ・高分解画像を用いたヒト脳の微細構造の研究
		生体磁気共鳴学	問合せ先 准教授 伊 藤 浩 介 Tel 0676 e-mail itoh@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 ・磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究
		臨床機能脳神経学	島 田 齊 Tel 2274 e-mail shimada.hitoshi@bri.	<p>当分野では、陽電子放射断層撮像法(PET)と核磁気共鳴法(MRI)を駆使して、下記のようなヒト生体脳機能イメージング研究を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神神経疾患の脳病態解明研究 ・脳環境恒常性機構に関する研究 ・神経変性疾患の創薬促進に資するバイオマーカー開発研究 <p>認知症やパーキンソン病関連疾患などの神経変性疾患を主たる研究対象としておりますが、その病態基盤に脳内異常蓄積たんぱく質の関与が示唆されている精神神経疾患や、加齢脳についても研究対象となります。</p>
		システム脳病態学	田 井 中 一 貴 Tel 0900 e-mail kztainaka@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・透明化脳標本を用いた3Dイメージング技術 ・脳小血管病の3D画像に基づく病理学的解析 ・てんかん原性脳病巣の3D画像に基づく病理学的解析 ・神経変性疾患の3D画像に基づく病理学的解析
			上 野 将 紀 Tel 0684 e-mail ms-ueno@bri.	<ul style="list-style-type: none"> ・神経回路の発生、発達、可塑性のメカニズム ・運動や自律神経系の回路の接続と機能の研究 ・脳卒中や脊髄損傷での神経再生、再編、修復に関する研究 ・神経-免疫-臓器連関の病態の解明
		形成・再建外科学	松 田 健 Tel 2593 e-mail matsuken@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・微小外科学 ・再建外科学（頭頸部・四肢・乳房） ・末梢神経再生に関する研究 ・顎顔面外科学（頭蓋骨形成異常・唇裂口蓋裂） ・創傷治癒に関する研究

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
地域 疾病 制御 医学	国際感染医学	ウイルス学	阿 部 隆 之 Tel 2115 e-mail atakayu@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルスの複製機構と病原性発症機序の解析 ・新型コロナウイルスの自然免疫応答の解析 ・小児パレコウイルスの病原性発症機序の解析 ・ヘルペスウイルス感染の複製機構の解析 ・神経変性疾患に対するUSP10の機能解析
		免疫・医動物学	片 貝 智 哉 Tel 2133 e-mail katakai@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫細胞の機能と動態 ・免疫組織の構造と働き ・リンパ節ストローマ細胞の機能 ・免疫関連疾患、感染免疫応答の分子病態生理 ・抗癌免疫応答の分子・細胞機序 ・発酵微生物に対する免疫応答
		細菌学	松 本 壮 吉 Tel 2050 e-mail sohkichichi@med.	<p>抗酸菌症など、年単位の治療が必要で、健康被害と人命損失を招いている難治性細菌感染症の制御をめざし、「ワクチン」、「治療薬」、「診断薬」の開発を行っています。また細菌を使って生物の基本原則、例えば細胞の長寿メカニズムの探索や解明等を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細菌の病原性や生命現象の解明 ・感染病原体に対する体をまもるしくみ（免疫）の解析 ・難病に対するワクチン、治療薬、診断薬の開発 ・アジアやアフリカにおける感染症の調査と国際協力
		国際保健学	齋 藤 玲 子 Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・国内・海外のインフルエンザウイルス感染症の調査（インフルエンザ薬剤耐性・分子疫学、インフルエンザワクチンの有効性評価） ・新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の分子疫学 ・RSウイルス感染症の分子疫学研究 ・新興再興感染症研究基盤創生事業「ミャンマーにおけるインフルエンザ様疾患と小児の髄膜炎の研究」 ・感染症疫学・感染症モデリング
		臨床感染制御学	※ 菊 地 利 明 Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床感染症に関する研究 ・HIVの治療に関する研究 ・免疫不全と感染症に関する研究
		国際消化器感染病学	寺 井 崇 二 Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器疾患の内視鏡学的研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 ・感染性腸炎に関する研究 ・消化性腫瘍に関する研究
		トランスレーショナルリサーチ		※今年度募集なし
	地方予防医学	社会・環境医学	中 村 和 利 Tel 2124 e-mail kazun@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、骨粗鬆症性骨折、転倒、膝関節症、サルコペニア、慢性疼痛などの加齢性疾患の疫学・予防医学研究 ・認知症予防を目的とした尿バイオマーカー研究（プロテオミクス研究など） ・ビタミンD、カルシウムなど栄養素の疾病予防効果に関する栄養疫学研究
		法医学	高 塚 尚 和 Tel 2146 e-mail houei@med.	<ul style="list-style-type: none"> ・法医病理学 ・法医画像診断学 ・法医中毒学 ・臨床法医学（子供の虐待とネグレクト） ・歯科法医学 ・法医同位体学 ・死因究明に係る法律学 <p>なお、上記の教育・研究内容は、「死因究明に係る高度専門職業人育成プログラム」の一環として実施します。</p>

専 攻	大 講 座	教育研究分野	指 導 教 員	教 育 研 究 内 容
地域 疾病 制御 医学	地域予防医学	健康増進医学		※今年度募集なし
		小児保健学	※ 齋 藤 昭 彦 Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	・小児生活習慣病に関する研究
		リハビリテーション医学	川 島 寛 之 Tel 2272 e-mail inskawa@med.	・リハビリテーションに関する研究 ・生活設計，生活支援に関する研究 ・スポーツ医学に関する研究
		総合診療医学	上 村 顕 也 Tel 2173 e-mail kenya-k@med.	・卒前教育・臨床研修教育における「総合的な診療能力」向上のためのカリキュラムに関する研究 ・リカレント教育における「総合的な診療能力」向上のための制度構築に関する調査研究 ・デジタル技術を用いた遠隔診療、シミュレータを用いた医学教育に関する研究 ・地域課題を把握し、解決するための研究 ・地域社会需要に基づく医療を他/多職種と協働して提供するための研究
	総合医療評価学	情報科学・統計学		※今年度募集なし
		薬剤評価学	外 山 聡 Tel 2782 e-mail toyama@med.	・薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む） ・薬剤経済学 ・薬物治療とリスクマネジメント（副作用及び有害事象を含む）
		臨床研究・レギュラトリーサイエンス学	富 田 善 彦 問合せ先 准教授 田中 基嗣 Tel 2331 e-mail mototsugu-tanaka@med.	・医薬品医療機器等の薬事規制や医療政策に関する研究 ・医薬品医療機器等の開発促進及び承認審査に関する研究／ドラッグラグに関する研究 ・臨床研究における有効性及び安全性の評価尺度に関する研究 ・臨床研究のデザイン、実施、評価、報告の適切性に関する研究 ・リアルワールドデータに基づく医薬品適正使用に関する研究

教育研究内容についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。

○新潟大学医学部医学科HOME>教育・研究活動紹介>研究内容一覧

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/activity/research/index.html>

○新潟大学医学部医学科HOME>概要（講座，教職員）

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/summary/index.html>

○新潟大学医学部医学科HOME>附属施設・関連施設

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/facility/index.html>

○新潟大学医学部医学科HOME>大学院志望の方へ>博士課程案内

https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/doctor_course/index.html

（注１） 志望する分野が決定している場合は、志望する研究分野の担当教員に必ず事前確認をしてください。教育研究分野により今年度は受け入れを行わない場合があります。

（注２） 第2志望がある場合は、第2志望分野の担当教員にも事前連絡をしてください。

（注３） 指導教員が不在の分野に志願する場合は、当該分野の問合せ先に相談してください。

（注４） 志望する分野が決められない場合は、下記の教員に相談してください。

○教育研究分野相談窓口

・菊地 利明（呼吸器・感染症内科学分野）

025-227-9321 kikuchi@med.niigata-u.ac.jp

不明な点は、新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係までお問い合わせください。

Tel : 025-227-2015 E-mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

Organization and education research

※Responsible for multiple educational research

★Inquiries for Professor absence

The numbers "025-227-" are omitted from the telephone number, and "niigata-u.ac.jp" is omitted from the e-mail address. Niigata University uses "Inquiry Form" to help students find a prospective supervisor.

Please provide us with your information from the following URL:

<https://www.intl.niigata-u.ac.jp/inquiry-form/>

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Molecular and Cellular Medicine	Molecular Genetics	Omics Biology	Masaki Matsumoto Tel 2077 e-mail masakim@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Studies on the molecular basis of cancer and senescence using omics technology • Studies on the regulation of proteostasis • Systems biology based on multi-omics • Technology development in protein chemistry and proteomics
		Molecular and Diagnostic Pathology	※ Riuko Ohashi Tel 2093 e-mail riuko@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Pathology, molecular pathology, and pathological diagnostics for malignant tumors • Establishment of grading and pathological staging of malignant tumors • Pathology, molecular pathology, and pathological diagnostics for inflammatory/metabolic diseases • Digital pathology and artificial intelligence in pathology
		Radiation Oncology	※ Hiroyuki Ishikawa Tel 2315 e-mail iskw@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Clinical research on radiation Oncology • Basic research on the technique for radiotherapy • Research on the Health-Related Quality of Life after radiotherapy • Research on medical physics
		Obstetrics and Gynecology	Kosuke Yoshihara Tel 2317 e-mail yoshikou@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Molecular etiology of endometriosis and related cancer • Multiomics analysis of gynecologic cancer and its application to clinical oncology • Identification of cancer stem cell in gynecologic cancer and its role for chemo-resistance • Establishment of 3D pathology in the Obstetrics and Gynecology field
		Hepatobiliary Oncology	※ Shuji Terai Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Regenerative Medicine (Gastroenterology & Hepatology) • Regulation for digestion, absorption and metabolism • Metabolic syndrome related steatosis, fibrosis, immunity and carcinogenesis • Applied Medicine using biomaterial, exosome and 3D printer. Translational Medicine (Gene & Cell Therapy, Exosome Therapy, Designer cell, Endoscopy).
		Surgical Oncology	※ Toshifumi Wakai Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Surgical Oncology • Early DNA damage response • Mechanism of multi-drug resistance • Molecular Biology of Cancer • Precision Medicine • Genome Medicine • Cancer and Microbiome • Artificial Intelligence
		Molecular Psychiatry	※ ★ Associate Professor Jun Egawa Tel 2212 e-mail jeg5414@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Functional analysis of risk genes for autism spectrum disorders using neurite and synapse development in cultured neurons as phenotypes. • Molecular genetic studies of schizophrenia and autism spectrum disorders • Pharmacogenomic studies on the effects and side effects of psychotropic drugs
		Medical Oncology	★ Associate Professor Syu Keiryō Tel 025-368-9004 e-mail zhouql@med.	Medical Oncology Molecular Targeting Drugs Stem Cells and Organ Regeneration

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Molecular and Cellular Medicine	Signal Transduction Research	Neurochemistry and Molecular Cell Biology	★ Associate Professor Fubito Nakatsu Tel 2084 e-mail nakatsu@med.	Our laboratory conducts research on the following themes at the molecular, cellular, and organismal levels. <ul style="list-style-type: none"> • Molecular mechanisms of nerve growth, axon regeneration and synapse formation • Structure and function of neuronal growth cone • Lipid metabolism and intracellular lipid transport • Regulation of inflammatory signaling, virus life cycle and nerve growth by lipids, and their diseases • Development of lipid imaging and tools for lipid manipulation by chemicals and lights
		Pharmacology	Masanori Hirashima Tel 2087 e-mail masanori@med.	Molecular mechanisms of lymphatic vascular development. Blood vessel-derived factors regulating lymphatic vascular patterning. Generation of fetal disease mouse models and their pathogenesis. Mechanism of disease progression due to changes in vascular cell identity.
		Molecular Oncology	※ ★ Associate Professor Kazuhide Saito Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	General Urologic Oncology <ul style="list-style-type: none"> • Basic uro-oncology and molecular biology • Treatment of urological malignancies <ul style="list-style-type: none"> a. Chemotherapy b. Immunotherapy c. Surgical treatment and Reconstructive surgery
	Cellular Function	Microscopic Anatomy and Bio-imaging	Shinsuke Shibata Tel 2058 e-mail shibatasa@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Development of structural and functional imaging procedure with various kinds of cells and tissues • Study for analysing the mechanism of neurogenesis and neural regeneration • Development of an artificial nerves using human iPS cell-derived nerve fibers • Development of a procedure for detecting neural activity by an electron microscope • Development of new imaging procedure to visualize the histological changes associated with neurodegenerative diseases • Study for analyzing the mechanism of chronic pain and cancer related pain • Analysis for the acquisition mechanisms of human-specific intelligence • Study of the pathogenesis of Hirschsprung's disease • Analysis for the maintenance mechanism of neural stem/progenitor cells • Development of novel imaging procedure for visualizing cell and tissue structure combining various microscopic technologies such as optical microscope and electron microscope • Computer science for developing a novel image analysis tools
		Molecular Pathology	★ Assistant Professor Katsuyoshi Takata Tel 2106 e-mail ktakata@med.	Molecular Tumor Pathology <ul style="list-style-type: none"> • Molecular analysis of malignant tumor (solid tumor, hematopoietic tumor) • Pathological analysis of human tumor tissues • Novel diagnostic technology of tumors • Nanomedicine for novel tumor therapeutics
		Gastroenterology and Hepatology	Shuji Terai Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Regenerative Medicine (Gastroenterology & Hepatology) • Regulation for digestion, absorption and metabolism • Metabolic syndrome related steatosis, fibrosis, immunity and carcinogenesis • Applied Medicine using biomaterial, exosome and 3D printer. Translational Medicine (Gene & Cell Therapy, Exosome Therapy, Designer cell, Endoscopy).

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Molecular and Cellular Medicine	Cellular Function	Dermatology	Riichiro Abe Tel 2282 e-mail aberi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Analysis of severe drug eruption • Analysis of cell death • Analysis of skin microbiome • Analysis of hair follicle-associated genes • Analysis of genodermatoses <p>non-M.D. researcher is belong to our department and many members including Master's course are recruit. Researchers can perform the subject you like except for the above.</p>
		Reproductive Medicine	※ Kosuke Yoshihara Tel 2317 e-mail yoshikou@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Effectiveness of HPV vaccine and the mechanism of carcinogenesis caused by HPV infection • Identification and clinical application of gynecological cancer stem cells • Elucidation of the pathogenesis of endometrial-related diseases focusing on genomic abnormalities in the normal endometrium • Elucidation of the etiology of ovarian cancer and development of new treatments • Elucidation of fetal physiology and pathology using ultrasound • Elucidation of the pathogenesis of hypertensive disorders of pregnancy using mouse models • 3-D structural analysis of normal and abnormal placentas • Studies on gastrointestinal protection in preterm infants • Studies on recurrent pregnancy loss and immune-related diseases
		Molecular and Functional Pathology	Riuko Ohashi Tel 2093 e-mail riuko@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Elucidation of cellular function and pathogenesis of malignant tumors • Pathological research for tumorigenesis, tumor progression and metastasis • Establishment of comprehensive multi-omics-pathology databases and bioinformatics
		Reproductive and Perinatal Medicine	Koji Nishijima Tel 2320 e-mail kojigyne@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Infertility and alloimmunity • Reproductive failure and autoimmunity • Pregnancy-induced hypertension and immunity • Reproductive disorders and gene polymorphism
	Molecular Neuroscience and Brain Diseases	Molecular Neurobiology		
		Neurology	Osamu Onodera Tel 0683 e-mail onodera@bri.	<ul style="list-style-type: none"> • Researches for clinical neurology • Researches for pathogenesis and treatments for stroke • Researches for pathogenesis and treatments for neurodegenerative diseases • Researches for pathogenesis and treatments for neuroimmunological disorders • Researches for pathogenesis and treatments for neuromuscular disorders
		Neurosurgery	Makoto Oishi Tel 0651 e-mail mac.oishi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> • Translational research for malignant brain tumors • Translational research for treatment of cerebral vascular disorders • Translation research for epilepsy • Translation research for treatment of pediatric neurosurgical disorders • Imaging of higher brain function • Elucidating machanisms of cortical reorganization after cerebral diseases and clinical application

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Molecular and Cellular Medicine	Molecular Neuroscience and Brain Diseases	Neural function, development and reproductive engineering	Toshikuni Sasaoka Tel 2163 e-mail sasaoka@bri. Associate Professor Manabu Abe Tel 0621 e-mail manabu@bri.	We produce genetically engineered animals that are useful as model animals in basic medical research, and conduct behavioral, biochemical, histological, and physiological analyses. In addition, we conduct a number of joint research projects with domestic and international researchers to elucidate higher brain functions. Through our research, we are able to acquire knowledge and skills in the latest neuroscience, molecular biology, and reproductive and developmental engineering. • Production of model animals for human disease and development of gene manipulation techniques • Improvement of repro-developmental techniques applicable to assisted reproductive technology • Basic research on understanding of the molecular mechanisms of brain function using genetically modified animals
		Neurogenetics	Takeshi Ikeuchi Tel 2343 e-mail ikeuchi@bri.	• Biomarker development for dementia • Molecular genetics of dementia • Research & development of familial Alzheimer's disease • Molecular pathogenesis of dementia • Bioresource establishment of dementia
		Cellular Neuropathology	Takayasu Mikuni Tel 0926 e-mail tmikuni@bri.	• In vivo genome editing techniques in the brain • In vivo molecular imaging techniques in the brain • Studying the mechanism of learning and memory • Studying the pathogenesis of developmental disorders
		Brain Tumor Biology		
		Neuroscience of Disease	Hideaki Matsui Tel 0646 e-mail hide0729@bri.	• Laboratory Policy: Conquering Intractable Diseases – Supporting Each Other with disability- Making Scientific History • Research on the pathophysiology of intractable diseases and aging: Among diseases, the current focus is on neurodegenerative diseases such as Parkinson's disease, Alzheimer's disease, and Amyotrophic Lateral Sclerosis. • Research on mechanisms of developmental disorders • Collaboration with pharmaceutical companies and food manufacturers • The unique feature of this program is that it attempts to understand the nature of intractable diseases and aging by comparing various research subjects such as cultured cells, small fish, mice, and human autopsy brains.
	Medical AI Center	Bioinformatics	Shujiro Okuda Tel 0390 e-mail okd@med.	• Researches for human gut metagenome data • Researches for associations between human gut microbiome and diseases • Researches for cancer genome data • Comparative genome researches for phospho-sites • Construction for multi-omics databases • Researches for medical artificial intelligence
	Cooperative graduate school (Visiting professor)	Neuropsychopharmacology	Kazutaka Ikeda Tel 03-6834-2390 e-mail ikeda-kz@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Genome analyses, behavioral pharmacology, and clinical application for addictive disorders • Genome analyses, behavioral pharmacology, and personalized medicine for pain and analgesia • Behavioral pharmacology and molecular biology for neurodevelopmental disorders • Molecular mechanisms underlying pleasant feeling

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Molecular and Cellular Medicine	Cooperative graduate school (Visiting professor)	Molecular Genetics	Yoshiaki Kikkawa Tel 03-5316-3311 e-mail kikkawa-ys@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Investigation of the relationship between genetic mutations and phenotypes by using mammalian disease models • Development of novel mammalian models for investigating genetic disease pathologies
		Neural Engineering	Yukio Nishimura Tel 03-6834-2373 e-mail nishimura-yk@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Development of neuroprosthesis via artificial neural connection and its clinical application • Neural mechanisms of functional recovery after brain/spinal cord injury • Neural mechanisms of motor performance control by motivation and emotion
		pediatric neurology	Hiroshi Sakuma Tel 03-6834-2358 e-mail sakuma-hs@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Molecular basis of microglial development and differentiation • Pathomechanisms of pediatric virus-associated acute encephalopathy • Diagnosis of pediatric autoimmune encephalitis
		Biological Psychiatry	Makoto Arai Tel, 03-6834-2380 e-mail, arai-mk@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Pathophysiological and clinical association of Schizophrenia with carbonyl stress • Development and analysis of mouse models based on Schizophrenia pathophysiology • Clinical investigation of the effects of a vitamin B6 derivative in patients with carbonyl stress-related Schizophrenia • Schizophrenia cell models and genetic counseling
		Integrative Brain Science for Psychiatry	Masanari Itokawa Tel 03-6834-1779 e-mail itokawa-ms@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science Basic and clinical research on neuropsychiatric diseases. Basic and clinical research on mental status and behaviors of human.
		Molecular neuropathology	Masato Hasegawa Tel 03-6834-2349 e-mail hasegawa-ms@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Molecular mechanisms of neurodegenerative diseases • Analysis of the cellular and animal models of neurodegenerative diseases • Search for diagnostic markers • Development of disease modifying therapies of neurodegenerative diseases
		Developmental Neurology	Chiaki Maruyama Tel 03-6834-2367 e-mail maruyama-ck@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Mechanisms of brain formation using mouse models • Comparative evolutionary analysis of brain development by interspecies comparison • Elucidation of molecular mechanisms of brain dysplasia • Basic research on psychiatric and neurological disorders
		Functional genomics	Hideya Kawaji Tel:03-5316-3128 e-mail kawaji-hd@igakuken.or.jp	Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science • Functional elements in genomes • Methodologies to analyze function of genome and RNA • Translational researches with genomics approaches

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Biological Functions and Medical Control	Homeostatic Regulation and Development	Clinical Nephrology and Rheumatology	★ Associate Professor Shin Goto Tel 2193 e-mail gotos@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Molecular biological analysis of the pathogenesis and progression of primary glomerulonephritis • Clinico-pathological research in primary and secondary kidney diseases • Development of new technologies of hemodialysis therapy and regeneration medicine • Research for treatment of renal anemia • The pathogenesis and treatment of rheumatic and autoimmune diseases • The pathophysiology and treatment of diabetic and hypertensive kidney diseases • Nutrition science in kidney diseases • Epidemiology for life-style related diseases using large-scale cohorts • Genetic analysis and development of treatment for congenital kidney diseases
		Respiratory Medicine	※ Toshiaki Kikuchi Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Research for respiratory diseases • Research for respiratory infection • Research for psychosomatic medicine • Research for thoracic malignant diseases
		Pediatrics	Akihiko Saito Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	
		Endocrinology and Metabolism	Hirohito Sone Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Research of metabolic diseases such as diabetes, dyslipidemia, hypertension, obesity, etc. by utilizing medical big data analysis (especially artificial intelligence (AI)), development of medical health apps, clinical epidemiology including cohort studies, meta-analysis, and health economics • Basic research to elucidate the mechanisms of onset and aggravation of the above-mentioned diseases and their complications, and to develop new treatments
		Clinical immunology		
		Palliative medicine Science	※ ★ Associate Professor Syu Keiryō Tel 025-368-9004 e-mail zhouql@med.	Palliative Medicine Clinical Research
	Cardiovascular and Vital Control	Cardiology	Takayuki Inomata Tel 2182 e-mail inotaka@med.	Basic and clinical research on atherosclerotic diseases Basic and clinical research on heart failure Basic and clinical research on cardiac arrhythmia
		Thoracic and Cardiovascular Surgery	★ Associate Professor Shuichi Shiraishi Tel 2242 e-mail sshuichi@med.	Thoracic Surgery Cardiac Surgery Vascular Surgery Artificial Organ, Anti-Thrombolytic Therapy Heart and Lung Transplantation
		Anesthesiology	Hiroshi Baba Tel 2323 e-mail baba@med.	Mechanisms of anesthetics. Mechanism of acute pain. Clinical physiology and pharmacology of neuron. (Functional monitoring of spinal cord) Intraoperative monitoring of respiratory and circulatory function.

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Biological Functions and Medical Control	Cardiovascular and Vital Control	Emergency and Critical Care Medicine	Kei Nishiyama Tel 2338 e-mail keinishi@med.	Data science on emergency medical system Research on resuscitation Research on management of critically ill patients Research on the development of medical treatment methods using artificial intelligence
		Pathomorphology	※ ★ Assistant Professor Katsuyoshi Takata Tel 2106 e-mail ktakata@med.	Comprehensive molecular pathological analysis of neoplasm using molecular manipulation technologies, protein detection, multiomics on tumor cell lines, mouse tumor model and patient tumor tissues.
	Regenerative and Transplant Medicine	Anatomy	Noboru Sato Tel 2045 e-mail nsato@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Development of motoneurons and their target muscles • Evolution of the vertebrates • Function of novel molecules in the brain • Development of gene transfer and bioimaging system in vivo
		Developmental Physiology	Sayaka Sugiyama Tel 2071 e-mail sugiyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Experience-dependent formation of neural circuits for individuality • Molecular and physiological functions to regulate sensory and emotional development • Visualization of circuits and behaviors with an image recognition system • Rewiring of neural circuits as application to developmental and psychiatric disorders.
		Digestive and General Surgery	Toshifumi Wakai Tel 2223 e-mail wakait@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Gastrointestinal Surgery • Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery • Esophagus and Gastric Surgery • Colorectal Surgery • Breast and Endocrine Surgery • Surgical Metabolism and Nutrition • Organ Transplantation (Liver and Pancreas) • Precision Cancer Medicine • Robotic Surgery • Artificial intelligence
		Orthopedic Surgery	Hiroyuki Kawashima Tel 2272 e-mail inskawa@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Repair and regeneration of locomotive organ (bone, joint, muscle, tendon, nerve) • Biomechanics of locomotive organ (bone, joint, muscle, tendon, nerve, spine) • Pathophysiology, repair and regeneration of spine and spinal cord • Pathophysiology and treatment for hand injury and diseases • Basic and clinical application of Microsurgery • Pathophysiology and treatment for bone and soft tissue tumor • Pathophysiology and treatment for RA • Osteoporosis and fragility fracture in elderly • Sarcopenia and frailty • Rehabilitation for patients with locomotive organ disease • QOL: quality of life in patients with locomotive organ disease • Trauma of extremities, pelvis and spine/spinal cord • Artificial joints of extremities and spine

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Biological Functions and Medical Control	Regenerative and Transplant Medicine	Pediatric Surgery	Yoshiaki Kinoshita Tel 2258 e-mail kinoppy@med.	Neonatal surgery Pediatric Endoscopic Surgery Pediatric Solid Tumor Pediatric Urology Congenital Pulmonary Disease Pediatric Liver and Pancreatic Disease Pediatric Surgical Nutrition and Metabolism Pediatric Inguinal Disease
		Urology	★ Associate Professor Kazuhide Saito Tel 2285 e-mail kazsaito@med.	Structure and function of kidney, genitourinary tract and male genitalia Urological Oncology Urolithiasis Pathophysiology of urinary tract Kidney transplantation and immunosuppression Urinary tract reconstruction and plastic surgery Endourology, Urological endocrinology, andrology
		Hematology	※ Hirohito Sone Tel 025-368-9026 e-mail sone@med.	<ul style="list-style-type: none"> Research for the pathogenesis of hematological malignancies including leukemia, lymphoma and myeloma. Clinical research to develop new treatments for hematological disorders Research for the transplantation immunoreaction on allogeneic hematopoietic cell transplantation
		Bio-systemic Gastroenterology	Shuji Terai Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> Regenerative Medicine (Gastroenterology & Hepatology) Regulation for digestion, absorption and metabolism Metabolic syndrome related steatosis, fibrosis, immunity and carcinogenesis Applied Medicine using biomaterial, exosome and 3D printer. Translational Medicine (Gene & Cell Therapy, Exosome Therapy, Designer cell, Endoscopy).
	Sensory and Integrative Medicine	Neurobiology and Anatomy	Hirohide Takebayashi Tel 2053 e-mail takebaya@med.	<ul style="list-style-type: none"> Developmental neurobiology Mechanisms of neuronal and glial cell differentiation from neural stem cells Role of RNA-binding proteins on neural cell function Pathological analysis of mouse models with neurodegenerative disease Regenerative therapies for neurological disorders
		Neurophysiology	Isao Hasegawa Tel 2068 e-mail isaohasegawa@med.	<ol style="list-style-type: none"> Neural basis for visual perception and memory Neural basis for linguistic/symbolic structuring in primates Neural basis for cognitive social interactions in primates
		Psychiatry	★ Associate Professor Jun Egawa Tel 2212 e-mail jeg5414@med.	<ul style="list-style-type: none"> Neural Circuit Analysis of "Theory of Mind" Functional analysis of risk genes for autism spectrum disorders using neurite and synapse development in cultured neurons as phenotypes. Research on brain pathology of autism spectrum disorder using magnetoencephalography Molecular genetic studies of schizophrenia and autism spectrum disorders Pharmacogenomic studies on the effects and side effects of psychotropic drugs Clinical pharmacological research on biomarkers of treatment-resistant depression Perinatal mental health research on psychosocial factors and biomarkers of perinatal depression

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Biological Functions and Medical Control	Sensory and Integrative Medicine	Ophthalmology and Visual Sciences	★ Associate Professor Tadamichi Akagi Tel 2293 e-mail akagi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Cell biology, pathophysiology, pharmacology of glaucoma • Ocular imaging of glaucoma and vitreo-retinal diseases. • Ophthalmic surgery and laser treatments • Corneal transplantation • Ocular infection and chemotherapy, pharmacology • Ocular histology, pathology and oncology • Neurophthalmology • Pediatric ophthalmology
		Otolaryngology	Arata Horii Tel 2303 e-mail ahorii@med.	Otology and neurotology, vestibular and auditory science, cochlear implants, middle ear surgery, head and neck surgery, endoscopic sinus surgery
		Functional Imaging	Hiroyuki Ishikawa Tel 2315 e-mail iskw@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Research on diagnostic radiology • Research on diagnostic imaging for lung cancer • Research on the application of new diagnostic imaging procedures • Research on therapeutic interventions using diagnostic imaging procedures
	Nephrology	Cellular Physiology		
		Renal Cell Biology	★ Associate Professor Yoshiyasu Fukusumi Tel 2160 e-mail fukusumi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Developmental mechanism of kidney glomeruli • Molecular structure of the barrier of glomerular capillary wall • Pathogenic mechanism of kidney diseases • Establishment of novel therapy for nephrotic syndrome
	Functional Neuroscience	Neuropathology	Akiyoshi Kakita Tel 0673 e-mail kakita@bri.	Studies as a comprehensive, academic neuropathology department that functions as a team to deliver the highest quality diagnostic services and to perform researches on pathomechanisms underlying various brain disorders.
		Integrated Neuroscience	★ Associate Professor Kosuke Itoh Tel 0676 e-mail itoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> • In vivo functional Imaging of brain • In vivo magnetic resonance microscopy of brain
		Biological Magnetic Resonance	★ Associate Professor Kosuke Itoh Tel 0676 e-mail itoh@med.	<ul style="list-style-type: none"> • In vivo molecular MR of brain • In vivo monitoring of water dynamics in brain
		Functional Neurology & Neurosurgery	Hitoshi Shimada Tel 2274 e-mail shimada.hitoshi@bri.	<ul style="list-style-type: none"> • We will conduct basic/clinical neuroimaging study using PET and MRI. <p>Our main research interests include 1) the pathological basis of neuropsychiatric disorders (especially neurodegenerative disorders such as Alzheimer's disease, Parkinson's disease, and their related disorders); 2) the homeostatic regulation of brain environment; and 3) the establishing of novel biomarkers contributing to promotion of drug discovery.</p>

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Biological Functions and Medical Control	Functional Neuroscience		Kazuki Tainaka Tel 0900 e-mail kztainaka@bri.	<ul style="list-style-type: none"> • 3D imaging of cleared brain tissue • Pathological analysis of neural disease
		System Pathology for Neurological Disorders	Masaki Ueno Tel 0684 e-mail ms-ueno@bri.	<ul style="list-style-type: none"> • Development and plasticity of neural circuits • Connectivity and functions of motor and autonomic circuits • Neural regeneration and repair after spinal cord injury and stroke • Brain-organ-immune system interaction
		Plastic and Reconstructive Surgery	Ken Matsuda Tel 2593 e-mail matsuken@med.	Microsurgery Reconstructive surgery(head and neck, upper and lower limb, breast) Peripheral nerve regeneration Craniofacial surgery Maxillofacial surgery Wound healing
Community Disease Control	Infectious Disease Control and International Medicine	Virology	Takayuki Abe Tel 2115 e-mail atakayu@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Molecular biology and research & development of hepatitis B virus (HBV) and hepatitis C virus (HCV). • Molecular biology of SARS-CoV-2. • Molecular biology of human parechovirus. • Molecular biology of herpes simplex virus (HSV). • The role of USP10 in the neurodegenerative diseases, including Alzheimer' s disease and Parkinson' s disease.
		Immunology and Medical Zoology	Tomoya Katakai Tel 2133 e-mail katakai@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Function and dynamics of immune cells • Structure and function of lymphoid tissues • Function of stromal cells in lymph node • Molecular-pathophysiology of infection and immune-associated diseases • Cellular and molecular mechanisms of anti-tumor immunity • Immune responses to fermented microorganisms
		Bacteriology	Sokichi Matsumoto Tel 2050 e-mail sohkichi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Basic biological research to know what is living using bacteria. • Analysis of bacterial persisting mechanism, such as, dormancy induction and biofilm formation. • Analysis of the molecular mechanisms of virulence of Mycobacterium tuberculosis and other mycobacteria. • Basic and translational research for development of vaccines, therapeutic agents, and diagnostic tools to protect against tuberculosis, leprosy, nontuberculous mycobacterial (NTM) diseases, and other intractable diseases. • Clinical study and survey in tuberculosis-endemic area in Asia and Africa, and contribute to global cooperation.
		International Health	Reiko Saito Tel 2129 e-mail jasmine@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Influenza surveillance in Japan and other countries(Molecular epidemiology, drug resistance, evaluation of influenza vaccination) • Molecular epidemiology of respiratory syncytial virus (RSV) • Molecular epidemiology of SARS-CoV-2 • J-GRID Project, "Study on influenza like illness and meningoencephalitis in Myanmar" • Infectious disease investigation in developing countries • Infectious disease epidemiology/modeling
		Infection Control and Prevention	※ Toshiaki Kikuchi Tel 025-368-9321 e-mail kikuchi@med.	Research for infection diseases

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Community Disease Control	Infectious Disease Control and International Medicine	Gastroenterological Infection	Shuji Terai Tel 2203 e-mail terais@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Regenerative Medicine (Gastroenterology & Hepatology) • Regulation for digestion, absorption and metabolism • Metabolic syndrome related steatosis, fibrosis, immunity and carcinogenesis • Applied Medicine using biomaterial, exosome and 3D printer. Translational Medicine (Gene & Cell Therapy, Exosome Therapy, Designer cell, Endoscopy).
		Translational research		
	Community Preventive Medicine	Social and Environmental Medicine	Kazutoshi Nakamura Tel 2124 e-mail kazun@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Epidemiology of dementia, osteoporosis, osteoarthritis, sarcopenia, etc. • Prevention of dementia using omics • Epidemiologic studies on vitamin D, and other nutrients for disease prevention
		Forensic Medicine	Hisakazu Takatsuka Tel 2146 e-mail houi@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Forensic pathology • Postmortem radiology (Forensic radiology) • Forensic toxicology • Forensic dentistry • Forensic isotope hydrology • Clinical forensic medicine (Child abuse) • Forensic Law
		Health Promotion		
		Child Health	※ Akihiko Saito Tel 2222 e-mail asaitoh@med.	
		Rehabilitation Medicine	※ Hiroyuki Kawashima Tel 2272 e-mail inskawa@med.	Research on rehabilitation Research on life management and support Research on sports medicine
		General Medicine	Kenya Kamimura tel 2173 e-mail kenya-k@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Development of training methods for generalist. • Evaluation of the recurrent education methods to be a generalist. • Development of effective telemedicine using digital technology, etc. and related human resource development. • Researches focusing on the resolution of social problems in the community and multi-disciplinary collaboration.

Course	Department	Division	Professor (First & Last name)	Education Research
Community Disease Control	Medical Informatics and Pharmaceutics	Medical Informatics and Biostatistics		
		Medical Evaluatics	Akira Toyama Tel 2782 e-mail toyama@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Drug administration planning based on pharmacokinetics and pharmacodynamics • Pharmacoeconomics • Pharmacotherapy and therapeutic risk management
		Clinical Research and Regulatory Science	Yoshihiko Tomita Associate Professor Mototsugu Tanaka Tel 2331 e-mail mototsugu-tanaka@med.	<ul style="list-style-type: none"> • Regulations and policies on pharmaceuticals and medical devices • Development and review of pharmaceuticals and medical devices • Drug lag research • Methodology to evaluate efficacy and safety in clinical research • Adequacy of study design, implementation, analysis and reporting in clinical research • Appropriate use of medicines based on real-world data

2. 履修方法及び学位授与

- (1) 指導教員の指導の下に、授業科目等を定め、30 単位以上を原則として3 年次末までに修得しなければなりません。単位履修の認定は、試験又は研究報告等により行います。
- ① 専攻共通科目 6 単位以上（講義 2 単位、演習 2 科目 4 単位以上）
 - ② 専攻個別科目 20 単位以上
 - ③ 他 専 攻 科 目 4 単位以上
- (2) 本研究科に4 年以上在学し、所定の単位を修得しさらに独創的な研究に基づく学位論文を提出して、その審査に合格し、かつ、学位論文を中心とする最終試験に合格した者に博士（医学）又は博士（学術）の学位を授与します。

3. 入学料の免除及び徴収猶予

次に該当する者で、入学料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 入学料の免除対象者
 - ・経済的理由により、入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者
- ② 入学料の徴収猶予対象者
 - ・経済的理由により納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入期限までに入学料の納入が困難であると認められる者

4. 授業料の免除及び徴収猶予（延納又は月割分納）

次に該当する者で、授業料の免除又は徴収猶予を願い出た者については、選考の上、授業料の全額若しくは半額を免除し、又は徴収猶予することがあります。

- ① 授業料の免除対象者
 - ・経済的理由により、授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・入学前1 年以内において学資負担者の死亡、風水害による災害等の特別な事情により授業料の納入が著しく困難な者
- ② 授業料の徴収猶予対象者
 - ・経済的理由その他により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
 - ・学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、納入期限までに納入が困難であると認められる者

5. 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記

のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家族の経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（令和5年度の場合）

第一種 80,000 円, 122,000 円から選択

第二種 5万円, 8万円, 10万円, 13万円, 15万円から選択

6. 学研災付帯学生生活総合保険

この制度は、学生生活全般に補償範囲を拡大したもので、感染予防費用（針刺し時に講じた予防措置費用の健康保健等の自己負担分）や、損害賠償金（学生生活において偶然に発生した事故により他人にケガをさせたり、財物等を損壊して支払わなければならない賠償金）にも対応可能な補償内容となっております。詳細については、後日合格者に送付する「入学案内」で周知します。

7. 大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例について

社会人が大学院博士課程で学ぶ場合、現在の職業を退職あるいは休職でもしない限り大学院に入学し所定の単位を修得し、学位を取得することは困難であります。

そこで、本大学院医歯学総合研究科では、このような社会人に対し、大学院設置基準第14条「大学院の課程においては教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」という規定を導入して教育方法の特例を実施しております。

この特例により、社会人学生は、それぞれのテーマに応じ、指導教員と協議の上、通常の時間帯における授業のほか、夜間その他特定の時間又は時期における授業による単位修得の便宜を受けるとともに研究を継続させ、博士論文を作成することになります。特例を受けようとする者は、入学後、研究科長に特例適用の申請を行わなければなりません。

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences (Med. Field).
Doctoral Program Guidance

1. Term of Study

Doctoral Program: four years

2. Requirement for completion

The student is required to register for at four years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

3. Presentation of Diplomas

Niigata University confers the degree of Doctor of Philosophy on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis and graduation examination.

4. Fees

- (1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)
- (2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

5. Exemption and Reduction of Entrance Fee

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

6. Exemption and Reduction of Tuition Fee

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

7. Contact information

1-757 Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata, Niigata 951-8510, Japan

Mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

[Note] Please contact with a department that you hope to study in advance when you apply.